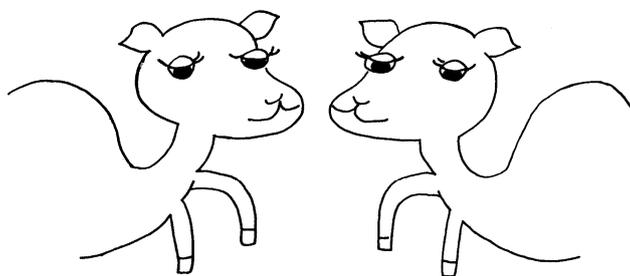


平成21(2009)年度

# 市民活動センターたちかわ 事業報告



市民社会を拓きたい



◆問合せ◆

社会福祉法人 立川市社会福祉協議会

市民活動センターたちかわ

〒190-0013 立川市富士見町 2-36-47

TEL:042-529-8323 FAX:042-529-8714

E-mail aiaivc@whi.m-net.ne.jp

<http://act.annex-tachikawa.com>

(月) - (金) 8:30 - 19:00

(土) 8:30 - 17:15

※(日)・祝日はお休みです

# 目 次

## ■はじめに

## ■1章 市民活動センターたちかわとは

1-市民活動センターたちかわの使命と基本方針	1
2-立川のまちと住民の特性	1
3-市民活動センターたちかわの描く「立川市民像」	2
4-市民活動センターたちかわの主なサービス	2
5-市民活動センターたちかわの特色	4

## ■2章 平成21年度の活動

1-1年間の相談集計結果と分析	5
2-平成21年度 地域福祉コーディネーター活動報告	15
3-4つの活動の柱	21
-市民参画の運営委員会によるセンター運営	21
-協働の推進	23
-地域づくり	30
-市民活動支援	37
-平成21年度の市民活動センター事業を振り返って	47
-平成21年度収支決算(概略)	50

## ■3章 これまでの7年とこれからの5年

## ■4章 資料

※1章については、市民活動センターたちかわ運営委員で分担執筆しました。

運営委員会では、今後も議論を重ねながら市民発のセンター事業報告作りを試みていきます。

## はじめに

### 市民活動センターたちかわが誕生したわけは

社会制度の規制緩和や格差社会、少子高齢化といった人口構造や家族機能の変容等社会環境が激しく変化している。

雇用環境の劣化やひきこもり等新たな社会問題が表出し、行政からの一律的サービスだけでは解決できない多様な生活課題も浮き彫りとなっている。

地球環境の変化による生命の危機が現実味をおび、巨大災害も頻発している。

市民・行政・企業がそれぞれの力を引き出しあいながら、持続可能な社会を創っていかなければ、未来は構築できないことに私たち市民は気付きはじめています。

ひとりひとりの市民がどう社会に参画していくかが重要な時代である。

一方、阪神・淡路大震災を契機としたボランティア活動への関心の高まりや、NPO 法（特定非営利活動促進法）の制定、さまざまな市民活動団体の登場等、ボランティア・市民活動のあり様も多様化している。

こうしたことを背景に、センターに寄せられる相談や情報も実に幅広く多様となってきた。期待される役割や事業、サービスのあり方も変化してきている。

多様性に答えられ、社会課題の解決に貢献し、たくさんの人と活動をつなぐ、市民にとって真に必要なとされるセンターであるために、市民活動センターたちかわは、平成 15 年 4 月に「立川ボランティアセンター」から機能拡大をし、再スタートするに至った。

# 1章 市民活動センターたちかわとは

## 1. 市民活動センターたちかわの使命と基本方針

### 【使命】

市民社会を拓きたい

### 【基本方針】

私たちは「市民」を、次のように思い描いています

- 1.自分で考えて行動する
- 2.社会のために行動する
- 3.地球のために行動する

私たちの考える市民社会とは、こうした市民としての自覚を持った人々が連携し、社会の課題解決に向けて取り組み、誰もが希望をもち生活できる社会である、と考えています。

## 2. 立川のまちの特性

○人口：立川市の人口は2010年3月1日現在で177,969人、世帯数は83,294世帯である。戦前戦後にかけて急激な増加を続けてきた人口は、1975年以降はゆるやかな増加に転じ現在に至っている。

※1

今後の予測としては、立川市の「第三次長期総合計画」（2000年3月策定）では、2014年における人口は、概ね19万人、昼間人口は24万人と想定している。

急激な人口増加は市民の中で他地域からの移住者が占める割合が大きいことを示している。

2008年1月1日現在立川市の1世帯あたり人員は2.2人である。10年前の1998年は2.4人、20年前の1988年時点では2.7人であり、確実に1世帯あたりの人数は減少している。※2

○面積：24.38平方キロメートル。※3

○地域的特色：東京都の中央西よりあって、都心から40km圏、東京駅から電車で50分程度の位置にあり、八つの市に隣接している。地形的には、市城南端の日野市との境に多摩川が流れ広々とした河川敷を構成し、河岸段丘崖に緑の多い傾斜地があるほかは、概ね平坦な地形である。市全域が都市計画区域に指定されている。

また市内にはJR中央線等東西方向に5路線の鉄道が通るほか、多摩都市モノレールの開通により南北方向の交通も確保され、立川駅はあらゆる方向からのアクセスが容易な多摩地域の交通の中心となっている。その結果、立川駅を中心として商業・飲食施設や事務所施設等が集積、その周辺に密度の高い市街地を形成する一方、国営公園や市北部地域の農地・屋敷林・玉川上水等、緑とオープンスペースも比較的多く残されており、近代的な町並みと郊外的なうらおいが共存する、多様な面のある地域特性を持っている。※4

※1,2,3 立川市ホームページから

※4 『立川市第三次長期総合計画』「I 総序-2 本市の特徴」から

### 3. 市民活動センターたちかわの描く「立川市民像」

『市民意向調査報告書』（2008年11月）によれば、立川市を住みよいまちだと思う人は78.4%を占めており、また今後進めていくべき重点施策として最も多いのが「高齢者福祉の充実」（43.7%）であった。<sup>※5</sup>

※5 「立川市第3次長期総合計画第3次基本計画」策定に向けて、同年8月に市民計2000人を対象に実施

このような特色を持つ立川市民に対して、市民活動センターたちかわとしては今後に向けてどのような「立川市民像」を目指して事業を行っていくべきだろうか。

まず市民がお互いにつながっているという意識を拓いていくことを大切にしたい。いま求められている「つながり」とは、人びとが自由な意思に基づき、協力し、助けあい、出会いを楽しみながら、自分たち自身で住みよいまち・社会を形成していくための営みである。

すでに人々がつながりを形成している場として、会社、学校、サークル、市民活動グループ・団体、地域自治会、PTA等、さまざまにあるが、その場がほんとうに上に述べたような「つながり」の場として機能していくための支援を行っていくことが、市民活動センターたちかわにまず求められているといえる。

### 4. 市民活動センターたちかわの主なサービス

☆総合相談機能を持って、様々な市民活動の、支援サービスをしています。

#### ■『協働の推進』……（協働支援センターの機能）

○基本計画策定市民会議の運営や「市民自治」のしくみを前進させる市民団体への支援

- ・立川市第3次基本計画策定のための市民会議
- ・市民会議「たちかわ市民みらい会議」
- ・たまがわ・みらいパーク（旧多摩川小学校の跡地）企画運営委員会

○市民活動団体との協働事業や地域イベント開催を支援

- ・「ふれあいミュージックフェスティバル」
- ・「はな・まち・こころボランティア」
- ・「駅前放置自転車クリーンキャンペーン」
- ・「たちかわ楽市市民祭」
- ・各種企画委員会やプログラムへのスタッフ派遣「ボランタリーフォーラム企画実行委員会」等

○企業のCSR（社会的責任）活動への支援

- ・社員のボランティア活動コーディネート
- ・新任研修への協力

### ■『地域づくり』……(地域活動支援センターの機能)

#### ○地域福祉コーディネーター

- ・市内2地区(栄町・若葉町地区/上砂町、一番町、西砂町地区)に専任で配属し、地域課題の解決を支援

#### ○学校を核とした市民学習支援

- ・市内の小中学校・高校、各種学校の授業プログラムを地域の住民や機関、市民活動団体とともに実施
- ・教育機関や市民活動団体の連携を支援

#### ○グッドネイバー推進団体の支援

- ・「よき隣人」をキーワードに、小地域単位での住民主体のまちづくりを進める、市内4地区(柴崎・栄・若葉・西砂一番)の団体の支援

#### ○「支えあいサロン」活動の支援

### ■『市民活動支援』……(ボランティアセンター・NPO支援センターの機能)

#### ○日々の市民活動に関する相談

- ・「ボランティアしたい」「サポートしてくれる市民活動団体を探している」「NPO法人を立ち上げるにはどうしたらいいのか」「立川でイベントをするので広報周知してほしい」などの相談対応

#### ○団塊の世代の市民活動参加支援

- ・商工会議所との協働プログラム「はな・まち・こころボランティア」の実施等

#### ○市民おもしろ大学の開催

- ・毎回、魅力的な生き様の市民を迎え、その生き様に触れると共に、その場に集まった参加者の学びあいの機会を作る

#### ○市民活動体験プログラム

- ・夏!体験ボランティア

#### ○情報の受発信

- ・ホームページ『市民活動WEB たちかわ』の運営と管理 各団体の活動情報を発信
- ・市民活動情報コーナーの設置  
紙媒体による情報収集、インターネットでの情報検索ができるコーナーを運営
- ・情報誌『市民活動センター★たちかわ通信』を発行
- ・『市民活動センター登録団体紹介BOOK』の発行
- ・市民活動センターたちかわ登録団体や情報希望者との連携

#### ○NPO法人設立ガイダンス

- ・NPO法の解説や法人化の意義、設立に向けた手順や事務について定例開催

#### ○市民活動団体向け実務講座

#### ○市民活動団体マネジメント講座

#### ○活動資金助成

- ・市民活動センター助成事業 市民活動団体の立ち上げまたは活動資金を支援
- ・各種民間団体の助成情報の周知

○活動スペースの貸出し

○機材の貸出し

- ・印刷機、拡大印刷機、コピー機、紙折り機、パソコン、図書等各種備品の貸出し
- ・他の施設、団体と共有できる物品の貸出し

たちかわパソコン倶楽部・・・プロジェクター、スクリーン

○ボランティア保険および行事保険の相談や加入受付

## 5. 市民活動センターたちかわの特色

「市民活動センターたちかわ」は市民で構成される運営委員と職員を交えた20余名の合議型運営方式で運営している。

ボランティアや市民活動団体を支援すること(中間支援)を通して、社会の様々な課題解決に貢献することを目指し、日々、市民や団体を『つなぎ』、『育み』、『拓く』役割を担っている。

また、各地の市民活動センターと比較して私達のセンターの特色といえるのは、いろいろな所から寄せられる多様な相談を大事にしていることである。漠然とした行き場のない相談の中に、新たな社会の課題が見え隠れし、市民発の活動として取り組む意義のある案件が多く含まれているからである。

市民や市民団体から聞こえてくる多くの声から市民社会の見えないNeedsやwantsを探り『協働の推進』、『地域づくり』、『市民活動支援』の3つのキーワードからなる事業を推進していく。地域や市民に根ざしたセンターを目指して、相手の声を直接に聞き、コミュニケーションを取りながら適切な役割を担うという手法を積極的に取り入れている。(P6.2章 平成21年度の活動 参照)



設立から7年が経過したが、センターは現状に満足することなく、協働事業のあり方や「これからの公共」について発信力を持つ大阪ボランティア協会やせんだい・みやぎNPOセンター等、各地の先進事例等を学びながら、多くの市民から愛される市民活動センターとなるよう取り組んでいく。<sup>※1</sup>

<sup>※1</sup>大阪ボランティア協会 <http://www.osakavol.org/>

せんだい・みやぎNPOセンター <http://www.minmin.org/>

## 2章 平成21年度の活動

### 1. 1年間の相談集計結果と分析

ボランティア活動やNPO、地域活動に関する相談を市民活動センター窓口や、立川市社会福祉協議会あいあいステーション窓口、事業を実施する中で受け付けた。相談内容に応じて、情報提供、課題整理のお手伝い、人や機関をつなぐコーディネート、生活課題解決のための個別相談につながった。

相談内容も多岐に渡るため、個々の相談に応じて、その場面で必要な役割と支援を見極めることと、相談者である市民自身が持つ解決力を引き出すことを、市民活動センターの相談受付においては大切にしている。

また、センターに寄せられる相談から、その時々々の社会課題、地域課題、市民活動に関する現状が浮かび上がってくる。これらの相談内容は、今後のセンター事業を方向付ける基盤となっている。今年度の大きな特徴として、以下の4点がある。

#### ①「本当に役立つ情報」が求められている

市民活動センターたちかわだからこそ入手できる「具体的な人となりや活動が分かる情報」や「この辺りの地域で私たちが使える社会資源は何か」といった、きめ細やかな情報が求められている。またある情報を一面的に捉えるのではなく、そこから新たな可能性を引き出し「役立つ情報」にしていくことも大切な働きと捉えている。

#### ②多様なつながりをつくる相談が増加している

障害者施設と企業の連携や団体の活動分野を越えた多様なつながりをつくるための支援が増えている。立川というまちに密着したセンターなので、永く付き合ってもらえるように、相談の幅を狭めず、連帯していく姿勢を大事にしたい。

#### ③地域に密着した活動により課題の掘り起こしがしやすくなっている

平成19年度より地域福祉コーディネーターがモデル的に配置され、地域における交流の場作りや団体間のネットワークづくり、調査活動、普及啓発活動を行なっている。より地域に密着した活動が展開できるようになり、相談を待つだけでなく、課題の掘り起こしや早期発見ができるようになった。

#### ④専門機関との新たな連携が必要な相談が増加している

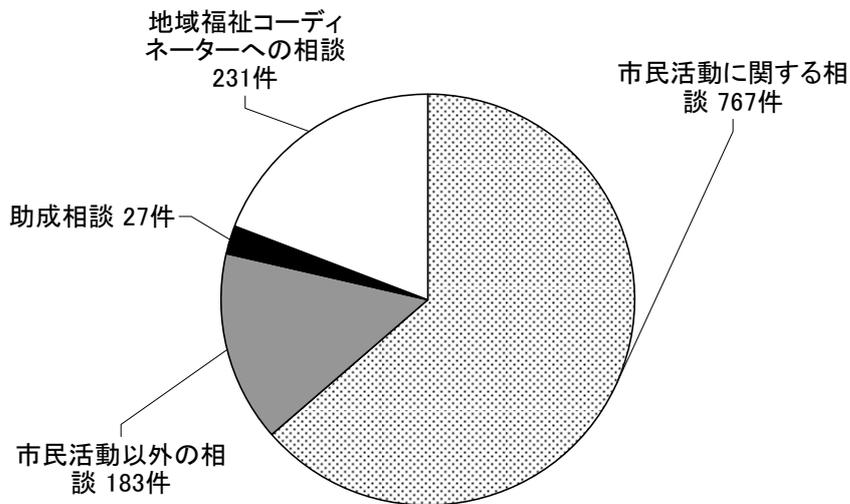
閉じこもりの方や、精神的ダメージを強く受けている方からの相談も増えている。そのため、カウンセリングの専門技術を必要とする相談等も見受けられる。センターとしての対応の限界点を見極めると同時に、新たな専門機関との連携が必須な状況である。

## (1) 市民活動に関する相談

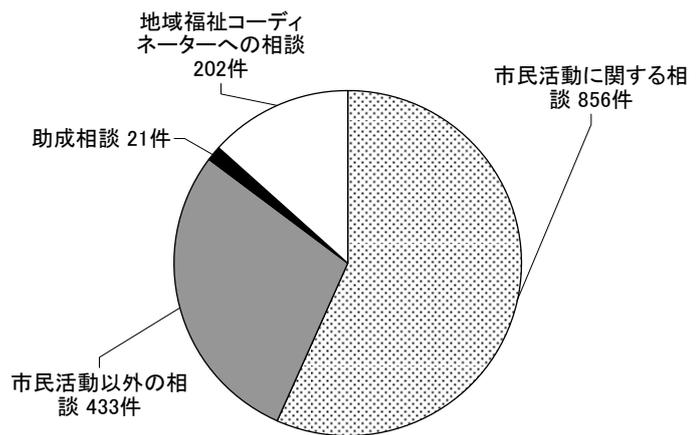
○相談件数 1,208件（平成21年4月1日～平成22年3月31日）

- ・市民活動に関する相談 767件(夏！体験ボランティア 168件を含む)
- ・市民活動以外の相談 183件
- ・助成事業申請相談 27件
- ・地域福祉コーディネーターへの相談 231件

平成21年度 相談件数の割合 1,208件



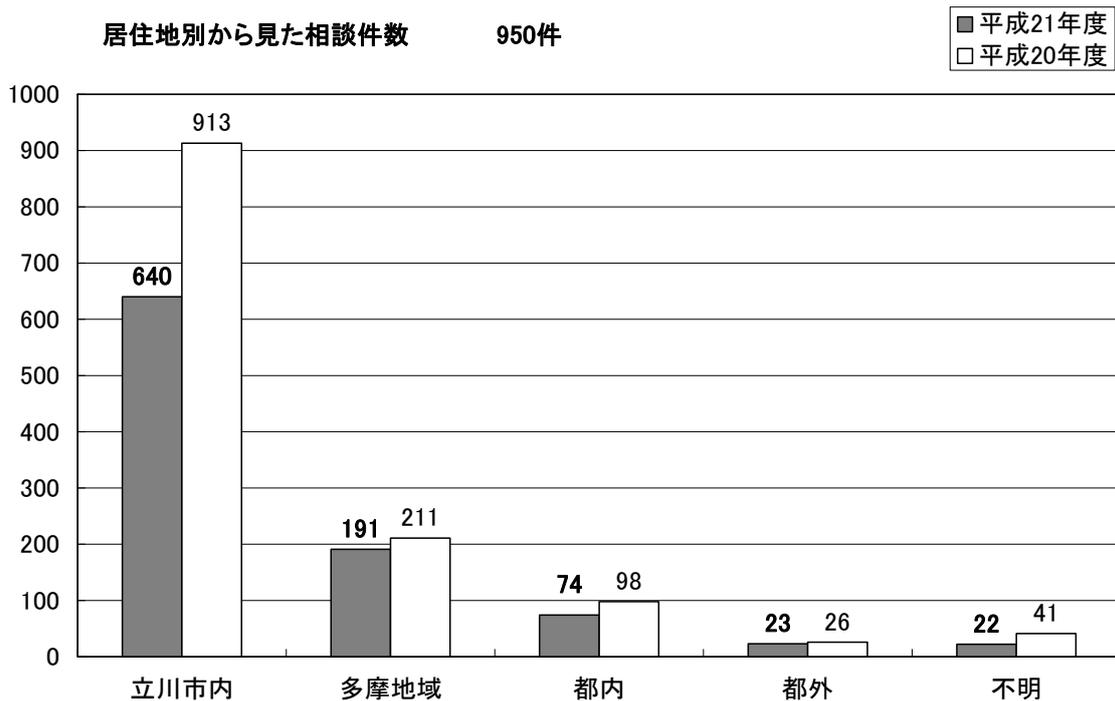
平成20年度 相談件数の割合 1,512件



※下記の集計は市民活動に関する相談及び市民活動以外の相談（助成事業相談及び地域福祉コーディネーターへの相談は除く）950件を集計。

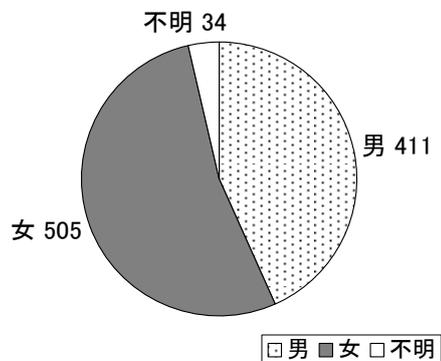
### ■相談者の様子

相談者の居住地は、当センターの特性上、立川市内が最も多いが、市外からの相談も多く寄せられている。市外からの相談については、相談者がお住まいの社会福祉協議会や同様のサービスを行なっている施設・団体へつなぐことも行なっている。

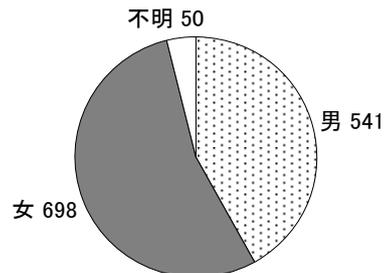


男女比は前年度とほぼ同じ割合である。

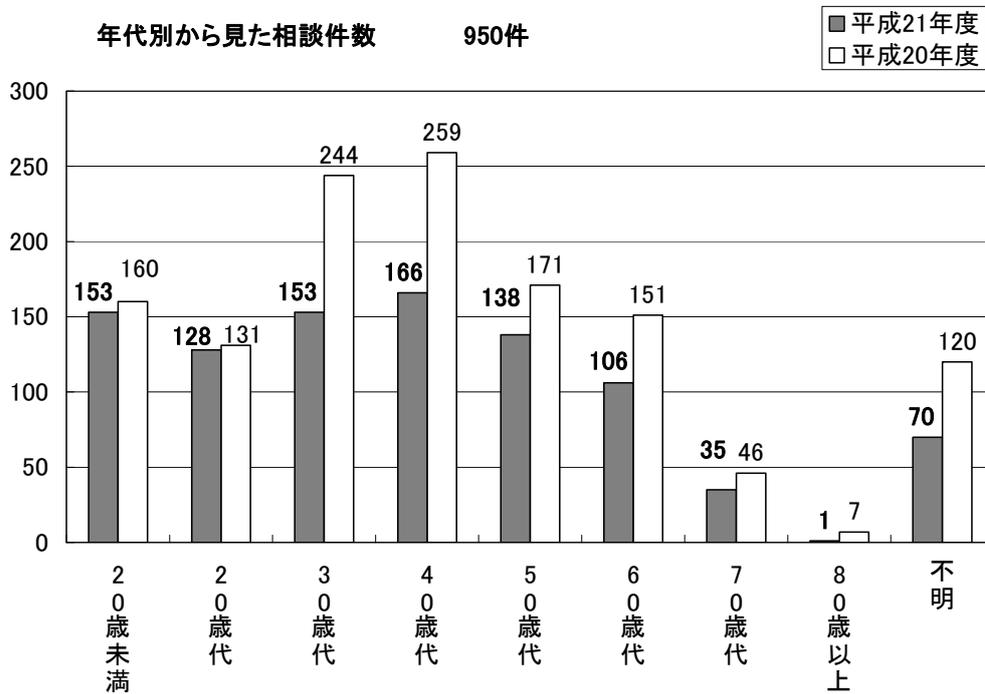
### 平成21年度 男女別から見た相談件数 950件



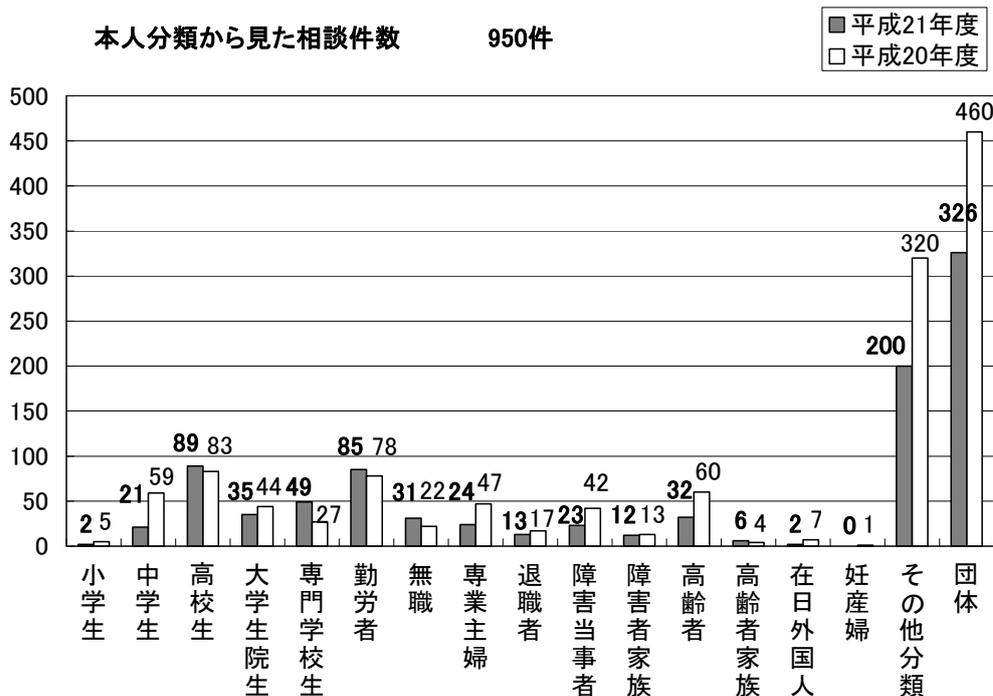
### 平成20年度 男女別から見た相談件数 1,289件



年代別比は、昨年度とほぼ同じ割合である。今年度は、40歳代の方からの相談が最も多くなっている。

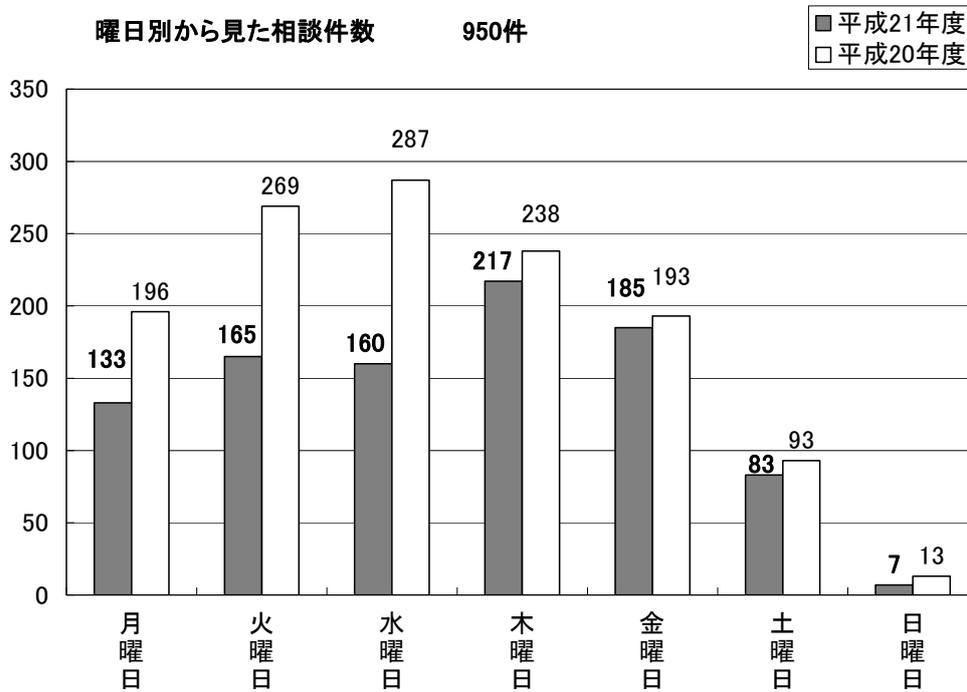


本人分類で見ると団体からの相談が多い。また、その他分類の件数も他と比べて多くなっている。その他分類には学校や行政、他地区社会福祉協議会からの相談が多い。また、昨年度よりも全体の相談件数が減っているが、高校生、専門学校生、勤労者からの相談数は増えている。

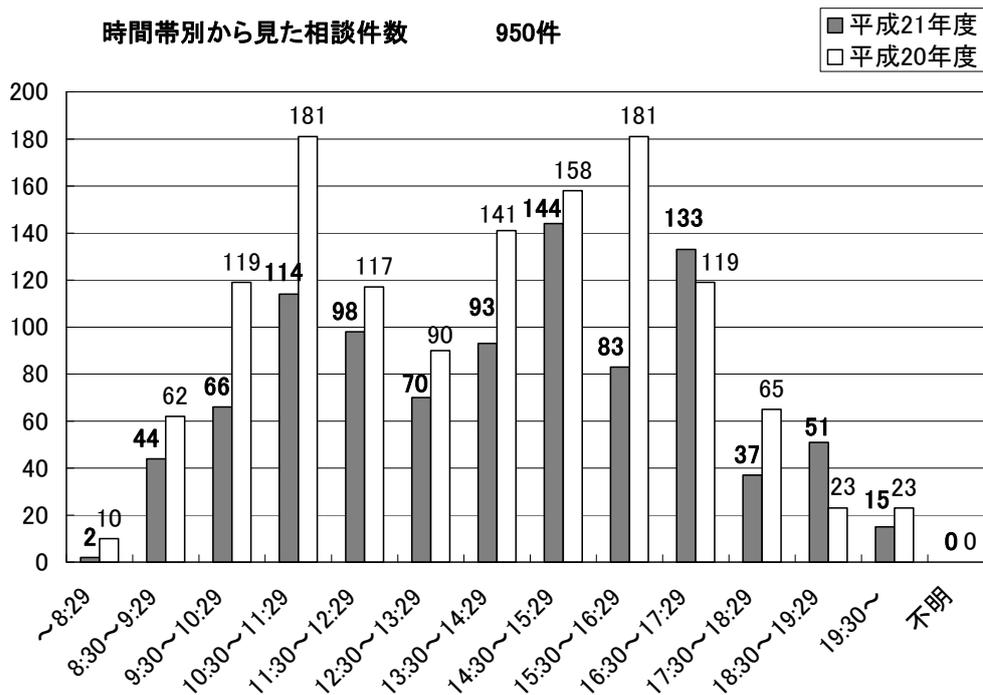


### ■相談が寄せられる日時の傾向

センター開所日のうち、土曜日の相談件数が少ない。また、今年度は木曜日に寄せられた相談が1週間の中で最も多くなっている。



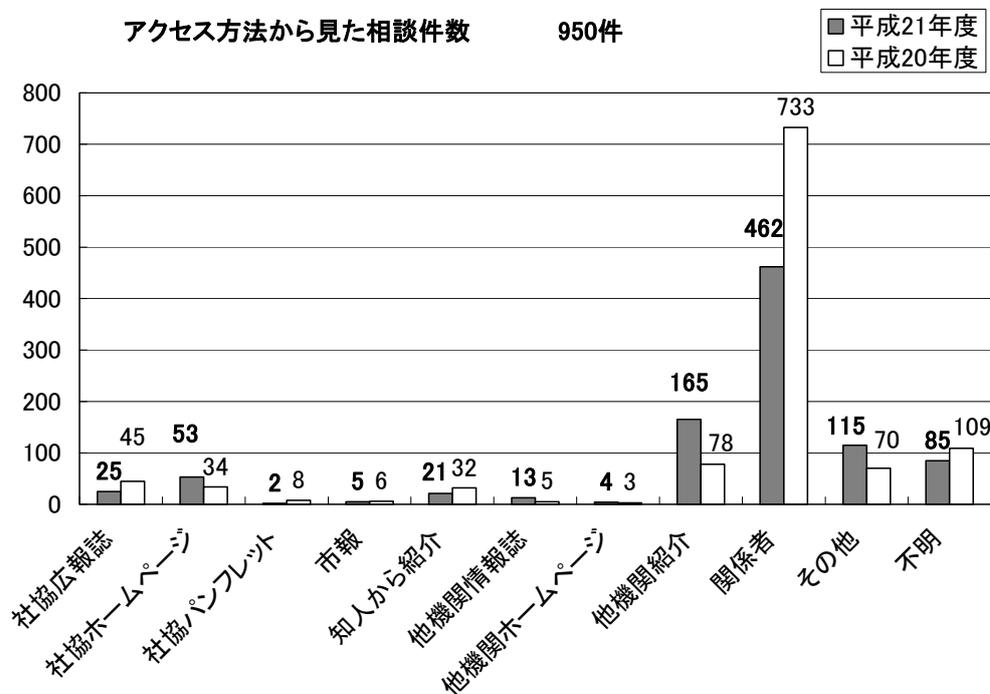
相談が寄せられる時間帯については、昨年度とほぼ同様であるが、15:30～16:29 や 18:30～19:29 の時間帯が昨年度と比べて増えている。



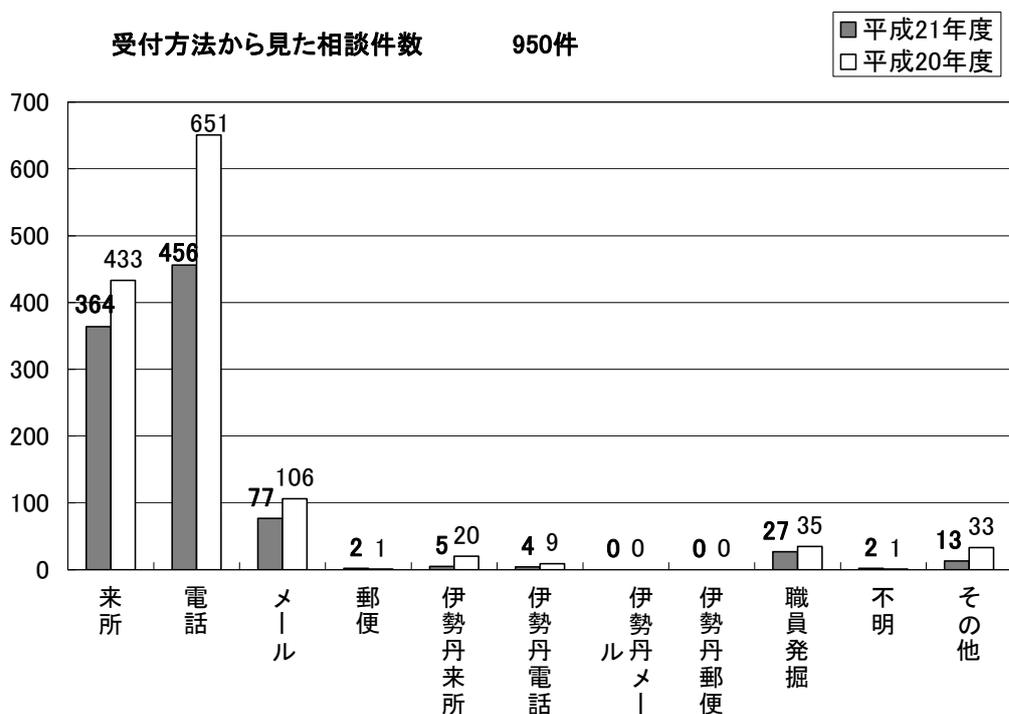
## ■センターに連絡を入れるきっかけとアクセス方法

昨年度、課題としていたホームページからのアクセスが、今年度はわずかながら増加している。  
また、他機関からの紹介でアクセスをしてくださる方が倍増している。

なお、「関係者」とは、一度でもセンターを利用したことのある方を含めている。



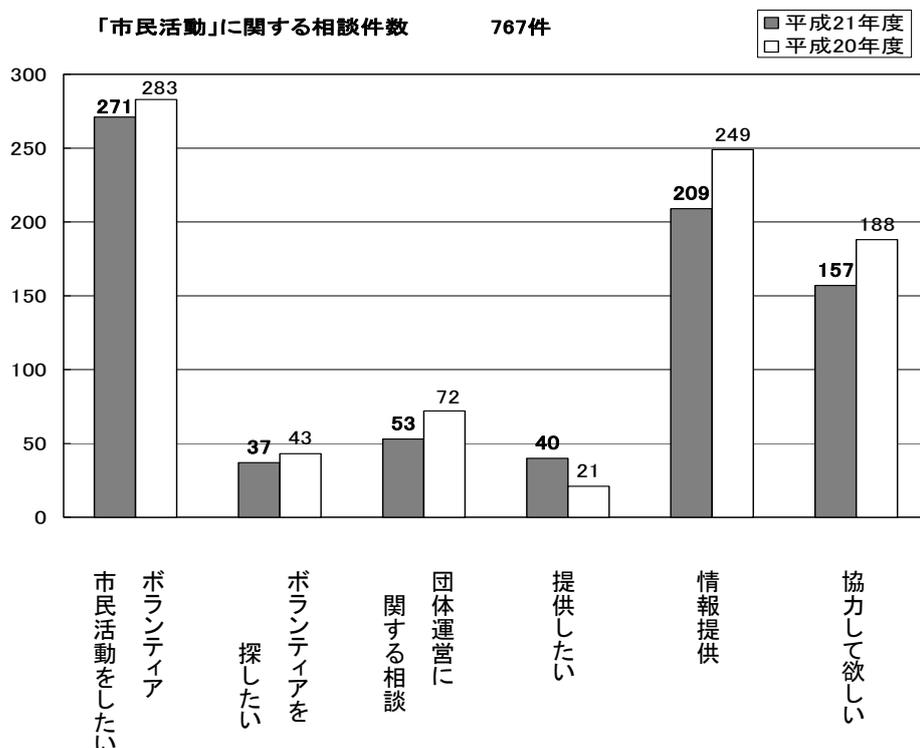
相談の受付方法については、全体比で見ると電話の割合が多くなっている。



## ■市民活動に関する相談内容

全体的な相談件数は昨年度(1,512件)と比べて約20%減少している。また、市民活動に関する相談の総数も、前年度(856件)と比べて約10%減少している。

今年度の特徴としては、物品寄付などの「提供したい」という相談が倍増している。その他の項目については比率的にはそれほど目立った変化は見られない。



「ボランティア・市民活動したい」「ボランティア・市民活動ほしい」という相談には、以下のような相談が寄せられている。最初から希望するボランティア活動のイメージを持っていない相談者も多く、その都度、相談者のニーズに合うような活動やボランティアと一緒に探している。

	ボランティア・市民活動したい	ボランティア・市民活動ほしい
保健・医療・福祉	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者介護、見守り等</li> <li>・傾聴</li> <li>・障害者介助</li> <li>・訪問マッサージ</li> <li>・レクリエーション (楽器演奏、歌、囲碁、将棋等)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者施設での活動補助</li> <li>・在宅高齢者支援 (ゴミ出し、見守り、外出支援等)</li> <li>・傾聴</li> <li>・レクリエーション (楽器演奏、書道、茶道等)</li> <li>・障害児の見守り</li> <li>・障害児・者の余暇支援</li> <li>・障害者向けイベント支援</li> <li>・手話通訳</li> </ul>

文化・芸術・スポーツ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・手品、折り紙、楽器演奏等</li> <li>・スポーツ指導</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・そば打ち指導</li> <li>・イベント支援</li> </ul>
子ども	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習支援</li> <li>・保育、見守り等</li> <li>・レクリエーション</li> <li>・イベント支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校内での障害児介助</li> <li>・学習支援</li> <li>・保育</li> <li>・外出支援（移動教室等）</li> </ul>
国際協力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本語学習支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本語指導</li> <li>・通訳</li> </ul>
情報	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パソコン指導</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会計書類の作成</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームレス支援</li> <li>・環境活動（地域清掃、自然保護等）</li> <li>・犬や猫の保護</li> <li>・農業支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・団体事務</li> </ul>

また、活動分野から見ると「保健・医療・福祉」と「子ども」の分野が多いのは昨年度同様だが、「まちづくり」の分野が昨年度と比べて約46%増えている。

年代から見ると、「子ども」分野は40歳代以下の女性が多い。逆に「環境保全」分野や「情報化社会」分野は男性の活動希望者が多いことがわかる。また、「まちづくり」分野については30歳代から60歳代までの活動希望者が多く男女の比率に大きな差はない。

	不明	20歳未満		20歳代		30歳代		40歳代		50歳代		60歳代		70歳代		80歳以上		年齢不明		合計
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
保健・医療・福祉	2	3	31	17	20	16	23	18	20	20	23	10	16	4	8	0	0	1	7	<b>239</b>
社会教育	0	0	0	1	3	2	2	1	2	2	0	1	0	0	1	0	1	0	0	<b>16</b>
まちづくり	1	2	2	6	7	15	23	24	10	10	15	20	10	5	2	0	0	1	0	<b>153</b>
文化・芸術・スポーツ	2	1	2	3	4	2	4	5	2	4	4	2	2	1	1	0	0	0	0	<b>39</b>
環境保全	11	25	2	3	2	2	1	9	2	2	1	2	0	0	0	0	0	4	1	<b>67</b>
災害救助	2	0	0	0	0	2	1	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	1	0	<b>8</b>
地域安全	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	<b>0</b>
人権擁護・平和の推進	0	0	0	1	1	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	<b>6</b>
国際協力	6	0	0	1	4	1	0	1	1	0	1	1	3	0	0	0	0	0	3	<b>22</b>
男女共同参画社会	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	<b>2</b>
子ども	1	18	59	11	15	3	18	2	12	6	6	3	1	0	0	0	0	1	0	<b>156</b>
助言・援助	2	0	0	4	3	1	2	4	2	0	0	4	1	0	0	0	0	0	1	<b>24</b>
情報化社会	3	0	0	0	1	1	0	0	0	2	0	1	0	0	0	1	0	0	0	<b>9</b>
科学技術	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	<b>0</b>
経済活動	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	<b>1</b>
消費者保護	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	<b>0</b>
職業能力開発・雇用機会の拡充	0	0	0	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	<b>4</b>
その他	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	4	0	1	2	2	0	0	2	7	<b>21</b>
<b>合計</b>	<b>31</b>	<b>50</b>	<b>98</b>	<b>49</b>	<b>60</b>	<b>45</b>	<b>76</b>	<b>65</b>	<b>52</b>	<b>48</b>	<b>54</b>	<b>46</b>	<b>34</b>	<b>12</b>	<b>14</b>	<b>1</b>	<b>1</b>	<b>11</b>	<b>20</b>	<b>767</b>

## ○「ボランティアしたい」という相談の一例

20歳代の市民から「清掃活動のボランティアがしたい」とセンターに相談が入る。

相談の過程や紹介した活動先との連携で、ご本人には何らかの障害があるのではないかと  
いうことに気がつく。ご本人や家族との話し合いを重ねる中で、若者の就労支援団体などに  
つなぐことができた。現在は、障害手帳も取得し、就労支援施設で新たな活動を始めている。

寄せられる相談から、適切な情報提供や支援機関につなぐことがセンターの重要な役割で  
ある。

## (2)「市民活動」以外の相談

「市民活動」に関する相談以外にも、生活に関わる相談が以下のように寄せられている。

分野に当てはまらない「その他」の相談が最も多く、どの相談機関を訪ねたらよいかかわから  
ない（新たな社会的課題や公的サービスの隙間等）相談が多いことも特徴である。これらのこと  
から、社会状況を反映している生活に関する課題なども増えていると考えられる。また、学校か  
ら寄せられる相談も昨年度よりわずかではあるが増えている。

	不明	20歳未満		20歳代		30歳代		40歳代		50歳代		60歳代		70歳代		80歳以上		年齢不明		合計
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
生計	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0	4
年金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
職業	0	0	0	0	1	0	0	1	3	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	6
家族	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
医療	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
知的障害	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	2
身体障害	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	4
精神保健	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
結婚・離婚	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	2
その他障害者福祉	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3
高齢者福祉	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2
アルコール	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ひとり親	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2
子ども	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
子育て	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
学校	0	0	0	3	0	3	7	6	9	4	0	0	1	0	0	0	0	0	0	33
地権・成年後見	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
法律・財産	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
苦情	0	0	0	0	2	0	0	1	0	1	3	2	2	1	1	0	0	0	0	13
自立支援法	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	3	0	2	7	6	6	8	11	17	15	7	9	4	3	2	0	0	2	3	105
合計	3	1	2	10	9	10	20	21	32	23	12	12	13	5	3	0	0	2	5	183

市民活動以外の相談の中で、もっとも多い「その他」の分野には以下のような相談がある。

「その他」の相談内容

問合せ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティア保険及び行事保険について</li> <li>・市民活動センター実施事業について (部屋の貸出、助成事業、団体登録、支えあいサロン等)</li> <li>・学校支援時のコーディネーター料について</li> </ul>
協働	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大学生との協働について</li> <li>・累犯障害者の支援について</li> </ul>
協力依頼	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員研修の活動先について</li> <li>・卒業論文作成のための情報収集</li> <li>・NPO 法人の職員募集について</li> <li>・NPO 法人の解散と企業の社会貢献について</li> <li>・市民活動センター視察及び講演会等の講師依頼</li> <li>・高校生が企画運営する講座の作り方について</li> </ul>
情報提供	<ul style="list-style-type: none"> <li>・理美容サービスを実施する際の届出等について</li> <li>・市内文化財の保存について</li> <li>・過去に実施した講座について</li> <li>・福祉施設のリスクマネジメントについて</li> <li>・老人会活動の活性化について</li> <li>・福祉系の求人情報について</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社協会費の集金方法について</li> <li>・TV 番組出演者の募集について</li> <li>・苦情 (発送物について、施設について等)</li> </ul>

○「市民活動」以外の相談の一例

市内在住の共に視覚障害のある兄妹をもつ母親からの相談。

「あと数年のうちには兄妹ともに就学予定。地域にある資源を活用して公立小学校に通うか、盲学校に通うか迷っているが、どこに相談をしたら良いのかわからず困っている。」と来所。母親の不安を受け止め、公立小学校や盲学校から得た情報を提供すると共に、今後、協力者となりうる可能性のある民生委員や市民、拡大写本をしているグループ等、さまざまな社会資源の情報を提供する。

母親も多くの資源があることがわかり少し安心した様子。合わせて、いつでもセンターに相談を寄せていただけるように配慮した。

課題を解決することが最終のゴールではあるが、困っている市民の声を受け止め、不安を解消し、一緒に考えていくこともセンターの重要な役割の1つと考えている。

## 2. 平成 21 年度地域福祉コーディネーター活動報告

### (1) 地域懇談会の開催

あいあいプランの計画策定時などは、地域の課題について住民に意見を出してもらうために地域懇談会を開催した。今年度は、防災、介護、公衆衛生など分野別に話し合う場を設定してきた。

#### ■認知症の高齢者を支える家族の会の開催

昨年度来、月に 1 回の定例開催をしている。参加者からは「この場所があることでとても心が軽くなっている」「家族の状況が変化したときに予め他の人からの情報があったので的確な対応が出来た」などの肯定的な意見が出ている。来年度は当事者(ここでは家族のこと)主体の運営に向けて必要な支援をしていきたい。

○定例会開催状況 ( ) 内は参加者とボランティアの数。「ボ」＝「ボランティア」

4/13 (4 名・ボ 1 名)、5/11 (6 名・ボ 1 名)、6/8 (6 名・ボ 2 名・包括 1 名)、  
7/13 (5 名・ボ 1 名)、8/10 (5 名・ボ 1 名)、9/14 (7 名)、10/19 (5 名・ボ 2 名)、  
11/9 (4 名・ボ 1 名)、12/14 (6 名・ボ 1 名)、1/18 (6 名・ボ 1 名)、2/8 (4 名・ボ 1 名)、  
3/8 (6 名・ボ 1 名)

○施設見学会の開催

8 月 10 日 (2 名)、11 日 (3 名) に、ライブリーデイサービスと、デイサービスこたつを訪問して施設見学会を催した。施設ごとの特徴がそれぞれ違い、サービス内容や経営者の姿勢に触れられたことは介護サービスを選ぶ参考になったとの声が聞かれた。



#### ■会食の場作り①

一日中あるいは数日誰とも話さない、あいさつもしないという高齢者の話を多く聞くようになった。「孤食」状態がずっと続く人も多い。また共稼ぎやひとり親家庭の増加で、夏休みに昼食をちゃんと食べていない子ども達もいる。その様な情報があったために栄町グッドネイバーの会員が中心となり、小学校の給食室をお借りして夏休みにご高齢者の食事会を試験的に開催した。学校に遊びに来ていた子ども達にもボランティアとして参加してもらったので多世代交流になった。

○開催状況

7/21 (16 名)、22 (20 名)、23 (15 名)、24 (17 名)、27 (5 名)、29 (12 名)、30 (11 名)、  
31 (12 名)、8/24 (9 名)、25 (12 名)、26 (11 名)、27 (13 名)、28 (10 名)

○振り返り

多世代で交流しながらの食事はとても楽しく、子ども達も食事をとることで表情の柔らかくなる子がいて、継続的に活動できる場所を探そうということになった。

#### ■会食の場作り②

上記の会食会の振り返りを受けて、元店舗だったところをお借りし、月に 2 回ずつ会食会を開くことにした。夏休みにボランティアをしてくれた子どもが参加したり、日ごろは一人で暮らす

方が参加したりしている。この会食の場では、1回500円をいただいている。会食会の形態は色々あると思うが、会食の場を地域に広げる方法を考えていきたい。

## (2) 交流の場作り

### ■生き生き健康体操教室の活動グループ作り

スローグループ（若葉町団地自治会集会所）、伸和会グループ（防衛省立川宿舎自治会集会所）南部自治会集会所、都栄自治会集会所、江ノ島道東住宅自治会集会所、市営江ノ島自治会集会所（計6箇所）



### ■社協支え合いサロン立ち上げ支援

編み物サロン（若葉町）、わかば麻雀くらぶ、コスモス体操会、生き生き健康体操伸和会グループ（計4グループ）

### ■わかばパステル絵画会

地域包括支援センターと共催で、ご高齢でも障害がある人でも参加しやすい絵画教室を開催した。次第に参加者も増えている。地域包括支援センターやケアマネージャーからの紹介で参加されている方も多い。



### ■男性のための料理教室(栄町)

栄町地区グッドネイバーをすすめる会、地域包括支援センターと共催で月に1回幸学習館にて開催を始めた。毎回参加する人もいらっしゃる。立川介護老人保健施設わかばの栄養士さんに毎回協力を頂き、手に入れやすい食材を使い簡単に家で再現できるメニューを考えて作っている。



### ■男の料理教室(若葉町)

4月より、地元で食の安全に関心の高い方々と一緒に開催をしている（立川健康生活ネットワーク）。地域包括支援センターとも共催。材料も安全なものを選び、普段は既製品でしか食べないようなものを作ることもよくある。30代からご高齢の方まで参加されていて、男性の参加者の方が多い。「家でも作ってみた」「家では食が進まない」「次回をとっても楽しみにしている」という方もおられ、遠方から通う人もおられる。



### ■住民のつながり作り(若葉町)

現在、自治会に未加入の世帯はふえつつある。そういう地域では防災やゴミ分別の徹底などで

情報が行き渡らず、人間関係が出来づらいう傾向もある。そこで若葉町の、ある分譲住宅地の地区の方々に自治会や連絡会などの結成を呼びかけた。継続して検討中。



12/11「防災学習会（参加者 2 名）」

1/30「ゴミの出し方学習会」（参加者 6 名）」

3/28「ゴミの出し方学習会・アルファ米の炊き出し訓練」（参加者 9 名）」

### (3) 調査・広報活動

#### ■火災警報器の申請支援

前年度に引き続き複数の自治会から、火災警報器の普及について手伝いを依頼された。立川市の助成制度を紹介しながら申請のとりまとめをして該当する高齢者宅を訪問する機会を得た（101 世帯の申請）。警報器普及の一助ともなったが、それ以上にコーディネーターや相談窓口を周知することが出来た点が大きな成果だった。訪問時に別の相談事があったり、手芸を特技とする人に出会うなど人材の発掘にも繋がった。また今まであまりつながりがなかった自治会からの依頼もあり、今後の地域活動や防災活動につなげたいと思う。

#### ■「まちねっと」の発行

北部東わかば地域包括支援センターとの協働で広報紙を 2 回発行した。

- ・ 第 1 号 平成 21 年 11 月 発行部数 約 9,000 部（栄町は全戸配布。若葉町は一部配布）
- ・ 第 2 号 平成 22 年 1 月 発行部数 約 12,000 部（両町ともほぼ全戸配布）

配布の効果としては、最近この地域に引っ越してきた人が「何か出来ることはないか」と問い合わせてきたり、地域包括支援センターへの相談件数が増えるなどの効果があった。次年度も発行する予定である。

### (4) その他

#### ■講座の開催

地域づくりのための講座を 2 回開催した。両回とも参加者同士の交流をはかるように心がけた。最近引っ越してきた、という方もおられたので今回参加された方へは今後の催しを継続的に行っていきたい。

#### ①「おたがいに支えあえるまち～新たな知縁・結縁・人のつながり～」

日 時 平成 22 年 3 月 2 日（火）  
会 場 若葉会館  
講 師 大村洋永氏（至誠ホームスオミ園長）  
参加者 10 名



#### ②「私がこんなに楽しい理由」

日 時 平成 22 年 3 月 16 日（火）

会 場 さかえ会館  
講 師 加藤勝子氏（視覚障害者・福祉教育協力者）  
参加者 22名

## ■地域団体との協働事業

### ①「終の住処はどこ」学習会

グッドネイバー若葉と共催。高齢期の住宅について、3回連続の学習会を開催した。毎回盛況でこの問題への関心の高さを伺わせた。開催の意図としては今の住宅で住み続けるために必要なことが何かを一緒に考える機会とし、住まいや介護の相談窓口を活用することを周知することであった。その目標はほぼ達成できたと考えている。



#### 第1回 「現在の住居で暮らし続けるには」

日 時 平成21年11月13日（金）  
講 師 川野和也氏（北部東わかば地域包括支援センター）  
参加者 40名

#### 第2回 「高齢者向け施設の種類の暮らし」

日 時 平成21年12月11日（金）  
講 師 栗原文男氏（至誠キートスホーム施設長）  
参加者 39名

#### 第3回 「有料老人ホームの種類の暮らし」

日 時 平成22年1月22日（金）  
講 師 齋藤弘毅氏（民間介護施設紹介センター所長）  
参加者 35名

### ②家族介護教室

栄町地区グッドネイバーをすすめる会、北部東わかば地域包括支援センターと共催。ご家庭で家族の介護に当たっている方向けに腰を痛めない介護の方法を学習する講座を設けた。高齢者だけでなく、難病の方を看ている親御さんも見えた。参加者は毎回少ないながらも必要な講座であると思った。（内容は3回とも同じ）



第1回 日 時 平成21年11月18日（土）  
会 場 南砂小学校視聴覚室  
参加者 6名

第2回 日 時 平成21年12月21日（月）  
会 場 幸学習館  
参加者 6名

第3回 日 時 平成22年1月29日（金）  
会 場 さかえ会館集会室にて



参加者 7名  
講師 渡辺一雄氏（立川介護老人保健施設わかば介護課長）  
協力 ヘルスレント多摩西ステーション

### ③「年をとっても住みなれた街で最後まで～みんなで考えよう在宅医療～」

高齢社会の食と職を考えるチャンプルーの会と共催。高齢で病気になった時に病院で過ごすというイメージが強いが、在宅で医療を受けるとはどういうことかを地域の方々と学んだ。家族が身近にいない方が在宅での医療を希望されたときに地域で支える仕組みがないか、今後検討していく。

日時 平成22年3月13日（土）  
会場 若葉会館にて  
講師 井尾和雄氏（立川在宅ケアクリニック院長）  
参加者 45名

## ■課題解決のためのしくみ作り

### ○迷子になる認知症がある高齢者への対応

昨年度から、タクシー会社との連携で無線を使った見守りが出来ないかを継続して検討している。結果、大掛かりなネットワークを作らなくても着手できることがありそうなので、次年度には包括支援センターと調整の上実現の可能性をはかりたい。

### ○小中学校に通う障害のある生徒への対応

市内の小中学校で学ぶ障害がある児童・生徒には教育委員会から介助員が派遣されている。介助員に欠員が生じる度に本会でも人を探す手伝いをしていたが、欠員にすぐに対応できず児童が自宅待機になる状況もあった。そこで障害児の教育を保障する意味からも、行政と介助人派遣事業所・高齢者のヘルパー派遣事業所との協働で欠員を防ぐ仕組みを提案していた。複数の派遣事業所や行政職員の尽力により平成22年度よりこの仕組みが導入されることになった。今後は欠員を防ぐだけでなく、統合教育の実現にも間接的ではあるが貢献したい。

## (5)コーディネーターへの相談について

寄せられる相談は第三者を介していただくことが多い。他機関や会合などでコーディネーター自身が見聞きした案件に対応したもの、また広報や会合出席なども含めて訪問相談内容件数にしている。※相談件数の数え方は、1つの相談を1件とせず、1つの相談がある程度終了するまで時間をとって活動した回数としている。例えば1つの相談に関連して3回の訪問やコーディネートをした場合は3件となる。

	連絡調整（件） ※各種団体の定例会出席、 団体間やボランティアの 引き合わせ等	普及啓発（件） ※地域福祉市民活動計画 やコーディネーターの説 明、介護予防、サロン普及 啓発等	調査研究（件） ※自治会長や関係機関へ のヒアリング、団体活動訪 問、情報収集等
4月	20	10	2
5月	19	10	1
6月	14	6	1
7月	27	8	6
8月	14	9	3
9月	20	3	6
10月	20	9	2
11月	22	9	0
12月	19	5	28
1月	27	20	2
2月	23	14	15
3月	26	6	2
合計	251	109	68

	各種相談（件）								
	見守り /介護	生計	住居	虐待	家事	市民 学習	子ども	ボラン ティア	その他
4月	7	1	0	1	1	9	3	7	1
5月	2	1	0	0	0	4	2	2	8
6月	9	0	0	1	0	1	4	4	8
7月	7	1	0	0	0	4	7	8	0
8月	5	2	0	0	0	2	0	2	0
9月	11	0	0	0	0	0	1	4	1
10月	5	2	0	0	0	4	1	3	1
11月	4	1	0	0	0	1	1	2	3
12月	3	0	0	0	1	1	1	5	0
1月	10	0	0	0	0	2	4	8	1
2月	0	3	0	0	0	2	5	5	1
3月	3	2	2	0	1	5	4	2	1
合計	66	13	2	2	3	35	33	52	25

### 3. 4つの活動の柱

「運営委員会」 市民参画によるセンター運営

「協働の推進」「市民力と連携のまちづくり」を前

「地域づくり」 地域の課題を地域で解決するしくみづくり

「市民活動支援」 人と人々が参加し、つながりあう豊かな社会を

#### 市民参画の運営委員会によるセンター運営

##### (1) 運営委員会

市民によるセンター運営を進めていくため、センターのあるべき姿を探求しながら、事業の企画・推進・評価を市民による運営委員会で行った。また、3つの専門委員会である「課題解決実行委員会」「団体支援委員会」「事業推進委員会」でも、委員会自身が具体的実践活動を展開しながら「市民活動とは何か」を捉えなおし、豊かにし続ける場となっている。

##### ■運営委員

20名 (氏名／選出時区分)

運営委員長	宮本直樹／社会福祉協議会理事
副委員長	岩間直人／ボランティア団体
	安藤永一／企業
	石原康博／特定非営利活動法人団体
	泉澤あい子／市民
	井上隆一／関係行政機関
	江夏馨／ボランティア団体
	大村洋永／学識経験者
	岸野有里／特定非営利活動法人団体
	北澤明／ボランティア団体
	佐藤達夫／市民
	芝田達矢／立川商工会議所
	鈴木武／企業
	筒井健／民生委員
	豊泉裕／市民
	松寄奈津美／市民
	箕輪和代／企業
	村井貴代／ボランティア団体

山尾桂子／市民

山家利子／特定非営利活動法人団体

※平成21年6月まで任期の委員

木村信一／市民

甲野 毅／特定非営利活動法人団体

利根川芙海／企業

星野 恵子／民生委員

三 嶋 賢 一／市民

○運営委員会 開催回数：4回

- ① 5／13(水) 平成20年度事業報告案について  
運営委員の改選について
- ② 7／15(水) 運営委員会と専門委員会について
- ③ 10／21(水) 上半期事業報告について  
第3次あいあいプランについて  
市民活動啓発イベントについて
- ④ 3／10(水) 第3次あいあいプランについて  
平成22年度事業案内について  
運営委員研修について

○課題解決実行委員会 開催回数：10回

センター開設から積み上げてきた相談や事業実績を分析し、解決すべきことは実行する。

- ① 4／10(火) 助成事業に関するアンケートについて  
地域に根ざす企業の努力への支援について
- ② 6／10(水) 助成実施団体(真如苑、立川青年会議所、立川市)との情報交換会
- ③ 8／25(火) 助成制度利用実態調査について  
今年度の本委員会の取り組みについて
- ④ 9／14(月) 今年度の本委員会の取り組みについて
- ⑤ 11／9(月) 今年度の本委員会の取り組みについて
- ⑥ 12／2(水) 助成制度を共によくしていくための利用実態調査の考察について
- ⑦ 12／14(月) 助成制度を共によくしていくための利用実態調査について  
※団体支援委員会との合同委員会
- ⑧ 1／13(水) 今年度の本委員会の取り組みについて
- ⑨ 2／16(火) 助成制度を共によくしていくための利用実態調査の集計結果について  
今年度の本委員会の取り組みについて
- ⑩ 3／30(火) 今年度の本委員会の取り組みについて

## ○団体支援委員会 開催回数:12回

助成事業や市民活動団体向けの講座企画・実施等多様な団体支援の手法について検討を行なう。

- ① 4/16(木) 平成21年度前期助成金審査会
- ② 6/3(水) 平成20年度報告書審査
- ③ 6/10(水) 助成実施団体(真如苑、立川青年会議所、立川市)との情報交換会
- ④ 8/11(火) 新しい助成制度について
- ⑤ 9/17(木) 平成21年度後期助成金審査会
- ⑥ 9/18(金) 平成21年度後期助成金審査会
- ⑦ 10/6(火) 平成21年度後期助成金審査会
- ⑧ 11/17(火) 市民活動センターたちかわ助成事業の改善について
- ⑨ 12/14(月) 助成制度を共によくしていくための利用実態調査について  
アンケート結果の報告について  
※課題解決実行委員会との合同委員会
- ⑩ 1/18(月) 市民活動団体向けマネジメント講座について
- ⑪ 2/8(水) 市民活動センターたちかわ助成事業の改善について
- ⑫ 3/2(火) 平成22年度団体支援委員会の年間予定について

## ○事業推進委員会 開催回数:9回

市民おもしろ大学や団塊世代への地域活動推進、商工会議所等協力団体との企画検討を実施した。

- ① 4/20(月) 第20回市民おもしろ大学について
- ② 5/25(水) 第20回市民おもしろ大学について
- ③ 7/22(火) 第20回市民おもしろ大学について
- ④ 8/28(金) 第21回市民おもしろ大学について
- ⑤ 9/28(金) 第21回市民おもしろ大学について
- ⑥ 11/10(火) 市民活動啓発イベントについて
- ⑦ 12/9(水) 第22回市民おもしろ大学について  
駅からハイキングについて
- ⑧ 1/22(金) 第22回市民おもしろ大学について  
事業推進委員会の目指す方向性について
- ⑨ 2/22(金) 第23回市民おもしろ大学について

## 協働の推進

### (1)協働の仕組みづくりと市民自治推進活動への支援

#### ■立川市第3次基本計画策定市民会議への支援

平成22年度から26年度を計画期間とする「立川市第3次長期総合計画第3次基本計画」に市民の発案を反映させることを目的に市民委員59名と職員委員12名により構成された市民会議の進行と市民会議での提言のとりまとめを平成20年度から引き続き担った。

全体会、分科会（「計画推進」「福祉保健」「生活環境」「教育文化」「都市づくり」「産業」）、幹事を軸に進行し、平成21年7月に市民提言を提出した。

○立川市第3次基本計画策定市民会議全体会(平成21年度)

	日時	会場	人数	内容
第5回幹事会	4月14日(火)	市役所301会議室	14名	・横断的テーマの扱いについて ・最終提言のまとめ方 ・幹事会の進め方
第6回幹事会	5月18日(月)	市役所301会議室	12名	・最終提言の構成、フォーマットについて ・分科会構成案について
第7回幹事会	6月20日(土)	市役所301会議室	12名	・分科会提言の報告 ・最終提言の全体構成について
第8回幹事会	6月27日(土)	市役所301会議室	13名	・最終提言の全体構成について ・全体会進行について
第5回市民会議	7月4日(土)	総合福祉センター	40名	・各分科会の報告 ・提言書のまとめ
第9回幹事会	7月4日(土)	総合福祉センター	14名	・最終提言の全体構成について ・全体会進行について
第6回市民会議	7月25日(土)	議事堂内会議室	47名	・提言書の報告、提出

○立川市第3次基本計画策定市民会議「計画推進」分科会(平成21年度)

	日時	会場	人数	内容
7	4月4日(土)	市役所301会議室	13名	・横断的テーマについて ・検討テーマ、課題に対応した具体的施策の検討
8	4月25日(土)	市役所301会議室	11名	・立川競輪について ・自治基本条例の制定について ・市議会について
9	5月16日(土)	立川競輪場内会議室	12名	・立川競輪について ・横断的課題解決スキーム構築について

10	5月30日(土)	市役所 301 会議室	13名	・分科会の提言について ・分科会提言のまとめ方
11	6月6日(金)	市役所 301 会議室	9名	・提言作成について
12	6月13日(土)	市役所 301 会議室	12名	・提言作成について
13	6月20日(土)	市役所 301 会議室	9名	・分科会提言(案)について
14	6月27日(土)	市役所 301 会議室	11名	・最終提言(案)について
15	7月11日(土)	市役所 301 会議室	6名	・最終提言(案)について

○立川市第3次基本計画策定市民会議「福祉保健」分科会(平成21年度)

	日時	会場	人数	内容
6	4月11日(土)	総合福祉センター	10名	・重点課題として位置づけた「検討項目・テーマ」について
7	4月25日(土)	総合福祉センター	7名	・重点課題として位置づけた「検討項目・テーマ」について
8	5月16日(土)	市民会館第4会議室	8名	・重点課題として位置づけた「検討項目・テーマ」について
9	5月30日(土)	市民会館第2会議室	9名	・提言作成について
10	6月13日(土)	市民会館第2会議室	8名	・提言作成について

○立川市第3次基本計画策定市民会議「生活環境」分科会(平成21年度)

	日時	会場	人数	内容
7	4月2日(木)	市役所 301 会議室	7名	・最終提言に向けての基本的スタンスに関する意見交換
8	4月28日(木)	市役所 301 会議室	9名	・分科会のまとめ方等について
9	5月15日(金)	市役所 302 会議室	6名	・4項目ごとに担当が発表し検討
10	5月22日(金)	市役所 301 会議室	7名	・提言作成について
11	6月5日(金)	市役所 302 会議室	8名	・提言作成について
12	6月12日(金)	市役所 302 会議室	7名	・提言作成について
13	6月26日(金)	市民会館第1会議室	5名	・発表リハーサル
14	7月18日(土)	市役所 301 会議室	6名	・発表リハーサル

○立川市第3次基本計画策定市民会議「教育文化」分科会(平成21年度)

	日時	会場	人数	内容
6	4月4日(土)	市役所 302 会議室	4名	・横断的テーマの検討 ・検討課題の絞込み
7	5月9日(土)	市役所 302 会議室	6名	・提言作成について
8	5月23日(土)	市役所 302 会議室	4名	・提言作成について

9	6月6日(土)	市役所 302 会議室	5名	・提言作成について
10	6月13日(土)	市役所 302 会議室	6名	・提言作成について

#### ○立川市第3次基本計画策定市民会議「都市づくり」分科会(平成21年度)

	日時	会場	人数	内容
5	4月11日(土)	総合福祉センター	5名	・今後の検討作業の進め方
6	5月9日(土)	市民会館第4会議室	7名	・作業シートの整理と最終提言案の検討
7	6月13日(土)	市民会館第3会議室	8名	・最終提言案の検討

#### ○立川市第3次基本計画策定市民会議「産業」分科会(平成21年度)

	日時	会場	人数	内容
6	4月8日(水)	市役所 301 会議室	5名	・具体的施策の検討
7	5月14日(木)	市役所 301 会議室	6名	・具体的施策の検討
8	5月28日(木)	市役所 301 会議室	7名	・最終提言の柱立ての検討
9	6月16日(火)	市役所 301 会議室	5名	・最終提言内容の検討

#### ■たちかわ市民みらい会議への支援

第3次基本計画策定のための市民会議有志メンバーと、第2次基本計画策定市民会議から発足した「たちかわ協働みらい会議」とが「たちかわ市民みらい会議」として一体化することになった。計画の進捗を確認したり、協働を進めることを目的としたこの会を、市民主体の協働がさらに前進していくことを共に目指して後方支援を行った。

#### ○たちかわ市民みらい会議の実施支援

- ① 9月29日(火) 会の進め方について
- ② 10月27日(火) 会の進め方について
- ③ 11月25日(水) 第3次基本計画策定の進捗状況について
- ④ 1月19日(月) 第3次基本計画策定の進捗状況について
- ⑤ 3月17日(水) 第3次基本計画策定の進捗状況について

#### (2) たまがわ・みらいパーク企画運営委員会への支援

##### ■たまがわ・みらいパーク企画運営委員会への支援

平成16年4月に廃校となった旧立川市立多摩川小学校について、市民の声を反映した跡地の活用方法の実現を目的に市民委員会が発足した。市民委員会でまとめた提言は平成18年1月に市長へ提出された。

平成18年4月からは旧立川市立多摩川小学校運営協議会が発足し、市民活動センターは、基本コンセプトの具現化や市民と行政との新しい協働型の運営、運営体制、施設・設備管理・プログラム実施に関するルールをまとめていくための支援を担った。

平成19年度から、市民会議に関わった市民を中心に「たまがわ・みらいパーク企画運営委員会」

が立ち上がり、プログラムの企画・実施等の運営を行なっている。平成 21 年度で 3 年目を迎えた「たまがわ・みらいパーク」は大きなターニングポイントを迎えている。この間、新たに加わった委員とのコンセプトやここまでのプロセス等の確認、これまでの運営に対する評価等、市民活動センターは市民、行政と協働しながら施設を運営していくための側面的な支援を行なっている。

### (3) 市民活動団体との協働事業の実施や地域イベントへの参画

#### ■ふれあいミュージックフェスティバル 2009

東京ガス(株)多摩支店、国立音楽大学との協働により平成 21 年度で第 17 回目の開催を迎えた。

この催しは障害のある方や、日頃クラシックコンサートに接しにくい方でも安心して参加できる取り組みとして開催している。多くのボランティアにも協力いただき、車椅子・ストレッチャーを使用されている方の会場誘導等も行っている。

例年楽しみにしてくださる市民が多く、当日アンケートに寄せられる声からも満足度は高い。また市内福祉施設で、当日の来場が難しい方へ国立音楽大学学生による出張コンサートを実施し好評を得た。

- 開催日 平成 21 年 12 月 20 日(日)
- 会場 国立音楽大学講堂・大ホール
- 内容 プラスでめぐる音楽の旅 (イギリス民謡組曲、日本民謡組曲等)
- 来場者 1,108 名
- 入場料 無料
- ボランティア 32 名
- プレコンサート
  - ① 9/19(土) スマイルくらぶ /クラリネット&フルートアンサンブル
  - ② 9/20(日) 介護老人保健施設 わかば/クラリネットアンサンブル
  - ③ 10/ 3(土) 介護老人福祉施設 敬愛ホーム /サクソ四重奏
  - ④ 10/24(土) 介護老人保健施設 国立あおやぎ苑立川/サクソ四重奏
  - ⑤ 10/18(土) 介護老人福祉施設 フェローホームズ  
/クラリネットアンサンブル
  - ⑥ 11/ 7(土) 地域デイサービス テイクオフ/サクソ四重奏
  - ⑦ 11/14(土) 介護老人福祉施設 至誠キートスホーム  
/フルートアンサンブル
- 特別協賛 東京ガス株式会社 多摩支店
- 後援 立川市、国立音楽大学、(財)立川市地域文化振興財団

#### ■企業の CSR 活動や社員研修への協力

企業から寄せられる「寄附がしたい」「CSR(企業の社会的責任)活動がしたい」「社会貢献できる人材育成プログラムを実施したい」といったご相談にのり、実施のための支援を行った。

##### ○CSR 活動のご相談

オムロン(株)、入船茶屋、大和ハウス工業(株)、ワシントンホテル、アサヒタウンズ、サンケイリビング新聞社、(株)アイエムプランニングオフィス、(株)パソナキャリア、(有)ハンドクラフト 等

### ○社員研修への協力

・三菱東京 UFJ 銀行

- 内 容 市内 8 ヶ所の施設・団体で 40 名の新入社員がボランティア体験
- 日 時 平成 21 年 5 月 12 日(火)・5 月 14 日(木)
- 協力団体 フェローホームズ、やわらぎホーム・西立川、ワークセンターまことくらぶ、高齢社会の食と職を考えるチャンプルーの会、いろりん、「育て上げ」ネット、星槎国際高等学校立川学習センター、立川市社会福祉協議会高齢者デイサービス

### ■その他の協働事業

地域団体や NPO と活動分野を超えて結びつき、まちづくりの協働者として共に事業を進めた。協働を通して、団体の財源確保や次の活動展開を探る場とした。

#### ○商工会議所との「市民参加のまちづくり」企画

- 目 的 商工会議所と市民参加プログラムを開催し、まちづくりの推進やボランティア活動参加のきっかけとする。
- 日 時 平成 22 年 2 月 20 日(土) 駅からハイキング
- 日 時 平成 22 年 3 月 28 日(日) 春うらら桜ウォーキング

#### ○迷惑駐輪クリーンキャンペーン

- 目 的 立川駅近くの小学校のうち総合的な学習の時間等で障害のある人との交流をした学校に広報し、実際の活動の場とした。
- 日 時 平成 21 年 10 月 22 日(木)
- 参加者 第三小学校・第七小学校の児童 11 名

#### ○春・秋の楽市

- 目 的 市民活動団体の PR や財源確保の一環
- 日 時 ①春の楽市 平成 21 年 4 月 26 日(土)  
②秋の楽市 平成 21 年 10 月 31 日(土)・11 月 1 日(日)
- 場 所 国営昭和記念公園みどりの文化ゾーン
- 参加団体 市民活動センターたちかわ登録団体  
①春の楽市 8 団体 ②秋の楽市 21 団体

### ■関係機関が主催する委員会等へのセンタースタッフの参加

関係団体や行政機関等が主催する各種委員会、研究会等にセンタースタッフ自身が参画することで、新たなニーズや情報をつかんだり、ネットワーク作りをする機会とした。

- 立川市地域福祉計画策定委員会
- 立川市民生・児童委員協議会会長会及び定例地区民協
- 立川市地域ケア会議

- 立川市地域包括支援センター介護予防業務連絡会
- 認知症支援拠点モデル事業推進委員会
- 立川市子ども支援ネットワーク
- 立川市地域学習館運営協議会準備会
- 西武立川駅周辺ユニまちソフト事業連絡調整会議
- 立川市防災モデル地区推進事業
- 柴崎町合同防災訓練実行委員会
- 「楽市」企画運営委員会
- 世界ふれあい祭実行委員会
- 福祉ホットライン検討委員会
- 障がいのある人もない人も暮らしやすい立川を考える会
- 東京都教育庁 奉仕体験活動検討委員会
- 立川高校定時制課程学校運営連絡協議会
- 砂川高校定時制課程学校運営連絡協議会
- 砂川高校通信制課程学校運営連絡協議会
- 東京ボランティア・市民活動センター センター長会議
- 東京ボランティア・市民活動センター 事務局連絡会議
- 東京ボランティア・市民活動センター 運営委員会
- 北多摩西部ブロックボランティア担当者会議
- 夏体験ボランティア 市区町村 担当者連絡会議
- 災害ボランティア担当者連絡会議
- NPO 担当者連絡会議
- ボランタリーフォーラム 2010 実行委員会
- タチカワコミュニティビジネスプロジェクト
- 多摩コミュニティビジネスネットワーク

#### ■センタースタッフによる講師等の派遣

関係団体が実施する講座、講演会等にスタッフを派遣し、協働した。

- 東京都教育庁 奉仕推進者養成研修
- 東京ボランティア・市民活動センター 市民学習研究協議会
- 全国社会福祉協議会 社協ボランティア・市民活動センター職員研究セミナー
- 茨城県社会福祉協議会いばらき地域福祉フォーラム IN つくば
- 東京都福祉局 基幹型支援センターモデル検討会報告会
- 全国社会福祉協議会 市区町村社協地域包括支援センター研究会フォーラム

## 地域づくり

### (1)小地域福祉活動の推進

#### ■町単位での取り組み

##### ○栄町・若葉町

「2. 平成 21 年度の地域福祉コーディネーターの取組み」に前掲。

##### ○西砂町・一番町(西砂・一番市民活動ネットワーク)

	日時・会場・参加者数	主な協議内容
1	平成 21 年 4 月 9 日(木) 西砂学習館 参加者 6 名	オープンガーデン企画について
2	平成 21 年 4 月 13 日(月) 一番福祉作業所 参加者 40 名	オープンガーデン
3	平成 21 年 4 月 14 日(火) 一番福祉作業所 参加者 20 名	オープンガーデン
4	平成 21 年 4 月 15 日(水) 一番福祉作業所 参加者 20 名	オープンガーデン
5	平成 21 年 4 月 17 日(金) 一番福祉作業所 参加者 20 名	オープンガーデン
6	平成 21 年 5 月 11 日(月) 天王橋会館 参加者 8 名	総会
7	平成 21 年 6 月 9 日(火) 西砂学習館 参加者 7 名	オープンガーデン企画について 他団体との交流・懇談について
8	平成 21 年 7 月 7 日(火) 西砂学習館 参加者 7 名	オープンガーデン企画について
9	平成 21 年 8 月 3 日(月) 西砂学習館 参加 6 名	西砂・一番町の防災の取組みについて
10	平成 21 年 9 月 8 日(火) 西砂学習館 参加者 7 名	ネットワークで取り組む活動について
11	平成 21 年 10 月 6 日(火) 西砂学習館 参加者 7 名	オープンガーデンについて
12	平成 21 年 11 月 10 日(火) 西砂学習館 参加者 6 名	オープンガーデンについて
13	平成 21 年 11 月 12 日(木) 一番福祉作業所 参加者 35 名	オープンガーデン
14	平成 22 年 1 月 12 日(火) 西砂学習館 参加者 5 名	地域向け企画について

15	平成 22 年 1 月 27 日(水) 天王橋会館 参加者 5 名	地域包括支援センターとの打合せ
16	平成 22 年 2 月 9 日(火) 西砂学習館 参加者 7 名	地域向け企画について
17	平成 22 年 3 月 23 日(火) 西砂学習館 参加者 8 名	地域向け企画について

#### ○幸町

	日時・会場	主な協議内容
1	平成 21 年 4 月 7 日(火) 幸学習館 参加者 15 名	人がつながる幸町夜回りについて
2	平成 21 年 5 月 8 日(金) 幸町 6 丁目 参加者 30 名	人がつながる幸町夜回り実施(6 丁目)
3	平成 21 年 6 月 2 日(火) 幸学習館 参加者 24 名	人がつながる幸町夜回りについて
4	平成 21 年 7 月 24 日(金) 幸学習館 参加者 17 名	幸児童館の紹介・認知症ミニ講座
5	平成 21 年 9 月 11 日(金) 幸学習館 参加者 24 名	人がつながる幸町夜回り実施(2 丁目)
6	平成 21 年 10 月 16 日(金) 幸学習館 参加者 13 名	人がつながる幸町夜回りについて
7	平成 21 年 12 月 1 日(火) 幸町 4 丁目 参加者 35 名	人がつながる幸町夜回り実施(4 丁目)・至誠キートスホーム見学・「旬の野菜について」ミニ講座
8	平成 21 年 12 月 28 日(月) 幸学習館 参加者 10 名	幸町団地夜回り活動への参加
9	平成 22 年 1 月 26 日(金) 幸学習館 参加者 16 名	人がつながる夜回り活動について 懇談会が取り組むべき事柄について
10	平成 21 年 2 月 13 日(土) 幸学習館 参加者 28 名	ゴミの分別についての講座

#### ○高松町

	日時・会場	主な協議内容
1	平成 21 年 5 月 12 日(火) 大東京信用組合 会議室 参加者 6 名	幹事会 懇談会の進め方について
2	平成 21 年 6 月 9 日(火) 大東京信用組合 会議室 参加者 4 名	幹事会 懇談会の進め方について

3	平成 21 年 7 月 11 日(土) 立川防災館 参加者 17 名	防災学習会
4	平成 21 年 9 月 4 日(金) 女性総合センター・アイム 参加者 18 名	高松町の課題について 懇談会の進め方について

#### ○柏町団地

	日時・会場	主な協議内容
1	平成 21 年 6 月 14 日(日) 柏町団地集会所 参加者 8 名	団地内で企画実施について
2	平成 21 年 8 月 30 日(日) 柏町団地集会所 参加者 50 名	ゴミ分別についての講座を開催
3	平成 21 年 10 月 25 日(日) 柏町団地集会所 参加者 31 名	防災取り組みについての講座を開催
4	平成 22 年 3 月 30 日(火) 柏町団地集会所 参加者 8 名	次年度の引継ぎ、今後の取り組みについて

#### ■グッドネイバー推進団体支援

市民が地域の中で、共に学び、参加し、支え合うまちづくりをすすめる目的で、市内 4 地区（若葉町、柴崎町、西砂町・一番町、栄町）にグッドネイバー運動推進団体を指定し、活動費の助成や情報交換を行っている。また、平成 16 年に行なった本会の地域福祉市民活動計画及び立川市行政の地域福祉計画の策定時は、この 4 地区で地域懇談会を開催し、計画に反映させた。

19 年度からは栄町と若葉町を対象に地域福祉コーディネーターが配置され、連携を図りながら地域活動を展開している。

西砂町・一番町では松中小学校内ふれあい交流室での子どもの見守り活動が定着し、地域の中で大きな力となっている。また、柴崎町では学校と地域のつなぎ役として子どもの居場所作りだけではなく、地域の人材育成等の機能も果たしている。本センターとしては、地域での協議の場を作り出すような役割を引き続き果たしていくことも期待している。

他の地域でもグッドネイバーが立ち上がらないか、というご意見をいただくことがあるが、それぞれの地域に合わせて検討をしていきたい。

また、22 年度から施行される第 3 次あいあいプラン（地域福祉市民活動計画）の計画策定の動きと合わせながら、地域福祉活動の進め方も含めてどのような活動形態が現代の地域に有効なのかを検討していきたい。

#### ■支えあいサロンの推進

市民の孤立を防ぎ、身近な地域の中で緩やかなつながりを継続できる場として、隣近所単位のたまり場活動である「支えあいサロン」の運営を支援している。

登録グループは、子育て中の人が多く集うサロンと、高齢者中心のサロンとに分けることができる。開催されているサロンの中には、防災活動やサロン開催時以外の時間帯での見守り活動につな

げる取り組みをしているところもあり、地域への波及効果の高さを改めて認識できた。今年度は栄町・若葉町において健康体操や高齢者中心のサロンが増え、登録サロン数は昨年度に比べ18団体増加した。高齢社会における重要な取り組みの一つであるので、今後も新たな人材発掘にも力を入れ一つでも多くサロンが立ち上がるよう支援していきたい。

登録サロン数 49ヶ所 (子)は子育て中心のサロン、(高)は高齢者中心のサロン、無印はその他/町名は主な活動拠点もしくは、代表者住所所在地を指す

サロン名	活動内容
親子で学ぶサークル『ハーモニー』 (子)／高松町 幸町 西砂町	読み聞かせ、歌、自由遊び、講師を交えた「わらべ歌」講習、遠足等
スキップママ(子)／富士見町	体操・料理・クラフト・子育て講座開催等
パドマ(子)／富士見町	全世代を対象とし、ヨガ、情報交換
さわさわ(子)／曙町	ランチタイム交流、ボールエクササイズ、ベビーマッサージ等
チーム若葉(子)／若葉町	子育てサークル(ヨガ)
ママの杜午後2時の会(子)／砂川町	バランスボール等
スマイル(子)／若葉町	おしゃべり・お茶のみ会
はぐはぐ(子)／幸町	みんなで子育てについて話す会
マロンキッズ(子)／高松町 砂川町 柴崎町	多胎児、親のサークル
子育てママテニスサークルTC(子) ／砂川町	子育て中の親子でのテニスやお食事会、読み聞かせ等
テニスサークルمامママ(子)／錦町	お茶のみ会
けやきサロン(高)／若葉町	一人暮らしの高齢者の話し相手、相談。食事会、講習会等
さき織りボランティアグループ ひめりんご(高)／若葉町	さき織りを中心とした交流
あすなろ会(高)／富士見町	地域の方と知的障害者作業所とのゲートボールを通しての交流
サラおしゃべり会(高)／若葉町	お茶を飲みながらおしゃべりをしたり、企画を開催
若葉町ボランティアグループ(高) ／若葉町	ミニデイサービス
いろりばた(高)／栄町	お茶飲み会。週代わりで昼食会、語らい、カラオケ、囲碁、ビデオ鑑賞、手芸
はなみずき(高)／幸町	お茶飲み会
けやきクラブ(高)／若葉町	健康麻雀
MG会(高)／若葉町	健康麻雀

ハッピーメイト(高)/若葉町	お茶のみ会
松中団地みんなのサロン会(高) /一番町	話し合い、お茶のみ会
いきいきサロン(高)/栄町	健康体操
福祉あすなろ会(高)/富士見町	散歩及び切手整理等
さかえサロン(高)/栄町	おしゃべり会
ダイエットクラブ/富士見町	ソフトバレー、交流企画等
さゆりの会(高) /幸町	ストレッチ体操
ワークアウトFor. Mrsの会/錦町	エアロビ・親睦会等
たんぼぼの会(高)/泉町	太極拳、お茶会
麦(高)/西砂町	お茶のみ会・手芸、お菓子作り
じゅんじゅん(子)/若葉町	アフリカダンス
あら七あらっ八(高)/高松町	お茶飲み、おしゃべり
ひだまりサロン(高)/上砂町	おしゃべり、軽い体操、音楽会
健康体操サークル(高)/高松町	健康体操と学習
生き生き健康体操伸和会グループ (高)/栄町	健康体操、お話
ひまわりの会(高)/富士見町	書道を通じた身体障害者のリハビリとケア
編み物サークル(高)/若葉町	編み物
コスモス体操会(高)/若葉町	健康体操
健康体操スロー会(高)/高松町	健康体操
すみれの会(高)/富士見町	健康体操
上砂体操クラブ(高)/上砂町	健康体操
熟年男性料理の会(高)/幸町	料理
ご近所サロン コスモス(高)/柏町	テーマを持ったお茶飲み会
親ワザ学びの会 ナチュラ(子) /高松町	親業の講習会や自主学習会
ダンデュライオン(子)/若葉町	親子サークル
わかば麻雀くらぶ(高)/若葉町	健康麻雀
ヨガサークル Namasute(子) /柴崎町	健康づくりのためのヨガ
B B P(高)/富士見町	パソコン勉強会
楽描き倶楽部・立川/富士見町	総合創作

## (2)小中学校を核とした市民学習支援

市内の小中学校から依頼を受けて、総合的な学習の時間や一般科目の中で福祉教育、市民学習に関する、学校と市民のコーディネートをした。この取り組みは地域の支援者であるセンター職

員や特定非営利活動法人自立生活センター立川、障害当事者、地域の高齢者、市民活動団体の活動者、商店街店主、行政職員等と、関わる市民も増加する中、協働して進めている。

数年来の取り組みの中での肯定的な変化として、地域の支援者が着実に力をつけていることがあげられる。それは生徒たちとのやり取りが上達したということに留まらず、学校との打合せにおいてプログラムを協働で作成する力や、コーディネートをする力もついてきているということである。プログラムの内容についても学校の実情に合わせて臨機応変に作成してきたため、経験が蓄積されている。

また、学校におけるプログラム実施の中で、地域の課題にも触れることが多くある。と同時に、学校の抱える悩みは地域の状況を反映しているともいえる。学校での取り組みは、地域の教育力を高める機会でもありと捉え、単にプログラム提供に留まらず住民を視野に入れて活動をしてきた。今後は、立川市社会福祉協議会の使命「住民主体による福祉コミュニティづくり」を推進していくため、地域の支援者が主体となる市民学習支援のコーディネートを展開していく。

#### ■学校への学習支援や出前講座の実施(相談のみも含む)

学校と学年	期間	プログラム作成協力	協力者のコーディネート	プログラムの分野 又は紹介した講師や協力者	機材貸し出し協力	職員派遣回数
二小 4年	2月	○	10名	車椅子使用者・視覚障害・聴覚障害のある人との交流	無	2
三小 3年	1-2月	○	5名	視覚障害のある方・聴覚障害のある方・車椅子使用者との交流	無	3
四小 4年	12月	○	4名	総合福祉センターの見学	無	3
4年	2月	○	3名	視覚障害のある人との交流	無	2
五小 1-4年	6-11月	○	5名	車椅子使用者・視覚障害のある人との交流	車椅子	5
七小 3年	10-12月	○	6名	視覚・聴覚・車椅子使用者との交流	無	3
4年	10-12月	○	6名	視覚・聴覚・車椅子使用者との交流	無	3
八小 3年	2-3月	○	3名	車椅子使用者との交流	無	3
南砂小	5月		2名	高齢者との交流	無	1
松中小 6年	11月	○	1名	認知症サポーター養成研修	無	2
新生小 3年	10-11月	○	6名	視覚・聴覚・車椅子使用者との交流	車椅子	3
5年	10-11月	○	6名	視覚・聴覚・車椅子使用者との交流	車椅子	3
一中 2年	6月	○	1名	認知症サポーター養成研修	無	2
二中 2年	4-5月	○	2名	車椅子バス体験	車椅子	1
			2名	高齢者向け体操指導	車椅子	1
			2名	ボッチャ(車椅子競技)体験	車椅子	1
			2名	電動車椅子サッカー	無	1
			2名	車椅子スラローム	車椅子	1
			2名	視覚障害のある人との交流	アイマスク	1

七中 2年	6月	○	6名	福祉作業所利用者とスタッフ、ホームヘルパー、高齢者施設職員との交流、	無	5
八中 1-3年	3月	○	9名	視覚障害のある人、聴覚障害のある人との交流、ケアマネージャーから高齢者について学ぶ	無	5
相談学級	10月		2名	聴覚障害のある人との交流	無	2
九中 2年	10月			ボランティアに関する調査	無	1
立川国際中2年	8月			職業体験に関する相談	無	

### ■立川市教員研修への協力

立川市教育委員会が主催する福祉教育をテーマにした参加型・体験型学習の研修に協力した。平成12年から地域の障害のある方々に協力をいただきながら実施してきたが、実施方法も定着してきたことから、授業への協力者を多数コーディネートしている NPO 法人自立生活センター・立川が主となり立川市教育委員会に協力して進めていくことの支援を当センターの目的とした。

- 日 時 平成21年7月28日(火) 9:30～16:00
- 場 所 総合福祉センター 視聴覚室
- 参加者 立川市および近隣市の教員10人
- 内 容 「福祉」や「地域」をテーマに体験型学習のプログラム作り
- 共 催 立川市教育委員会
- 協 力 NPO 法人自立生活センター・立川 障害当事者8名

### (3)都立高校の奉仕体験活動の支援

都立高校において、19年度から奉仕体験活動が導入された。市民活動センターたちかわは、東京都教育庁より教育支援コーディネーターの委託を受け、市内の3校(5課程)に対して、具体的なプログラム作成の協力や社会資源の情報提供を行なっている。

課題は、広く地元の自治会や市民活動団体と協力をしてプログラムを開発するための「人財」確保と高校生が楽しみながら積極的に関わることのできるプログラムづくりである。これについては、他地域の情報収集やその学校の実情に合わせた工夫をしている。

#### ○各校での取組みについて

学校名(課程)と実施学年	取組み内容と協力団体
立川高校(全日制) 1-3年生約960名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学生向け部活動体験</li> <li>・児童館での活動支援(立川市錦児童館)</li> <li>・環境保全活動(玉川上水の自然保護を考える会)</li> <li>・小学生への夏休み宿題教室支援(学ボラの会)</li> </ul>
立川高校(定時制) 3年生約80名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・傾聴トレーニング(社団法人日本産業カウンセラー協会)</li> <li>・国際協力・理解(一橋大学留学生交流サークルすなふきん)</li> <li>・環境(『キャップの貯金箱』推進ネットワーク)</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障害のある人との交流（自立生活センター・立川、市内在住の視覚障害のある人）</li> <li>・様々な職業の方から話を聴く（助産師、美容師、NPO 法人、IT 関連企業の営業等）</li> </ul>
北多摩高校（全日制） 1 年生 161 名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災マップづくり、スタートトリアージ、CERT トレーニング (NPO 法人危機管理対策機構)</li> <li>・災害時における救命救急訓練(災害医療センター、立川消防署)</li> <li>・立川花火大会翌日の清掃活動（立川商工会議所）</li> <li>・学校・地域の環境美化活動(花ボランティア・桜草の会、ファーレ倶楽部、Bonze 工房等)</li> <li>・高齢者との交流(立川市ゲートボール協会、フェローデイサービスセンター、社会福祉協議会デイサービスセンター、立川市羽衣地域福祉サービスセンター、ゆいまあるデイサービスセンター、けあらず等)</li> <li>・子どもとの交流(第二小学校、第六小学校・南砂小学校、高松保育園、愛光保育園、愛光あけぼの保育園、栄保育園、江ノ島保育園)</li> </ul>
砂川高校（単位制普通科） 2 年生 150 名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災マップづくり、スタートトリアージ、CERT トレーニング (NPO 法人危機管理対策機構)</li> <li>・災害時の対応(災害のボランティアネットワーク準備会)</li> <li>・環境保全活動（『キャップの貯金箱』推進ネットワーク）</li> <li>・国際協力（財団法人日本ユニセフ協会）</li> <li>・社会貢献活動（幸児童館）</li> <li>・障害のある人との交流 (市内在住の車椅子使用者、市内在住の視覚障害者)</li> </ul>
砂川高校（通信制） 全学年 113 名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進路を考える（市内の児童館に勤めている方・立川で理髪店を経営されている方）</li> <li>・身近でできる環境保全（市内の写真家の方）</li> </ul>

## 市民活動支援

### (1) ボランティア情報提供希望者および登録グループとの連携

#### 【ボランティア情報希望者】

ボランティア情報提供希望者には、個別に対応し、希望に合わせて具体的な情報を引き出し、活動につなげることに努めている。

#### 【登録グループ】

主に立川を拠点として活動している特定非営利活動法人やボランティアグループ等、市民活動団体の登録制度を設け情報交換を密にすることで連携を深めた。また、市民活動団体の活きた情報を

広く市民に公開するため、ホームページ「市民活動 WEB たちかわ」の運営や「市民活動センター★たちかわ通信」の発行、『登録グループ紹介 BOOK』の作成を行なった。この他にも、市内福祉施設でのボランティア活動情報を掲載した『ボラえもん』の発行や助成事業、機材の貸出し、市民活動団体マネジメント講座の開催等、市民活動団体それぞれの活動がより充実するための連携を図っている。

- 登録グループ 147 グループ (7,426 名)
  - ・障害のある人や高齢者、医療に関するグループ 46 グループ
  - ・子どもや子育てに関するグループ 27 グループ
  - ・環境に関するグループ 11 グループ
  - ・文化・スポーツに関するグループ 25 グループ
  - ・多文化共生に関するグループ 3 グループ
  - ・地域づくり・まちづくりに関するグループ 24 グループ
  - ・いろいろな相談事業に関するグループ 11 グループ

## (2)市民おもしろ大学の開催

多様な生き方、価値観をもつ魅力的な立川市民を講師に招き、共に学び、交流することが「市民文化」を広める第一歩の機会と捉え実施している。

平成17年度から公募市民が運営に携わっている。市民活動センターたちかわの特色をどのように出していくのかが、今後の課題である。

### ○第19回市民おもしろ大学

- 開催日 平成21年 4月 4日(土)
- 会 場 普濟寺
- 参加者 40名
- テーマ 「たちかわ歴史探訪 ～普濟寺とその歴史と宝物を訪ねる」
- 講 師 弓場 重典氏

### ○第20回市民おもしろ大学

- 開催日 平成21年 8月1日(土)
- 会 場 立川市新庁舎建設現場
- 参加者 17名
- テーマ 「新庁舎・特別見学会」
- 講 師 新庁舎建設準備課 建設係長 市村 健一氏

### ○第21回市民おもしろ大学

- 開催日 平成21年10月31日(土)
- 会 場 秋の樂市
- 参加者 10名
- テーマ 「樂市を100倍楽しむ樂市案内人！！」
- 講 師 市民活動センターたちかわスタッフ・市民活動センターたちかわ運営委員

### ○第22回市民おもしろ大学

- 開催日 平成22年 3月13日(土)
- 会 場 女性総合センター・AIM 第3学習室
- 参加者 35名
- テーマ 「立川に若者支援で注目されている団体があるのご存知ですか?！」
- 講 師 NPO法人「育て上げ」ネット 事務局長 石山 義典氏

### (3)市民活動体験プログラム

#### ■夏！体験ボランティア 2009

市民のボランティア活動のきっかけづくりを目的に、夏休み期間を中心に、市内の福祉施設や市民活動団体と連携をとりながら実施した。

福祉分野以外の団体からも体験プログラムの提供をいただくに至っている。

参加者の傾向として、学生が中心となっている。社会人の方や団塊の世代の方の参加が少ないため広報やプログラムを考えたい。

- 開催時期 7月～8月を中心とした夏期
- 活動メニュー 市内の受入れ施設・団体等 80団体 135プログラム
- 参加者 168名

#### ■そば打ちボランティア養成講座

ボランティア活動に興味があっても「何をしたらいいのかわからない」、「男女一緒に参加しやすいテーマで活動している団体が少ない」という声を耳にする機会が多くあった。そこで、そういった人たちが活動することのできる団体を作ろうと、市民活動センターの事業推進委員会が中心となって話し合いを行い、養成講座の開催、団体立ち上げの支援を行った。

	日時・会場	主な協議内容
1	平成21年5月19日(火) 総合福祉センター 参加者7名	団体立ち上げについて
2	平成21年6月23日(火) 総合福祉センター 参加者6名	団体立ち上げについて
3	平成21年7月21日(火) 総合福祉センター 参加者7名	団体立ち上げについて
4	平成21年8月25日(火) 総合福祉センター 参加者8名	団体立ち上げ、市民活動センターたちかわ登録団体手続き
5	平成21年12月5日(土) 女性総合センター・AIM 参加者35名	エコパートナー研修会にて、そば打ち体験を行った
6	平成22年3月5日(金) そば打ち講師、荒井氏宅訪問 参加者3名	今後のそばうちボランティアの活動・センターの支援方法について
7	平成22年3月23日(火) 女性総合センター・AIM 参加者33名	社会福祉協議会職員へボランティア活動のお披露目

## (4)情報の受発信

### ■ボランティア・市民活動情報コーナーの設置

総合福祉センター2階に、自由に情報や書籍を閲覧したり、チラシ等を入手したりできるボランティア・市民活動情報コーナーを設置している。また、貸出しパソコンを使用して情報検索ができるコーナー「フリースポット」も運営し、市民が気軽に情報を入手できるようにしている。活動分野・内容・形態ともに多様な団体が情報を寄せてくださるようになっている。

豊富な情報収集と同時に、必要としている情報を絞り込んだり、新たな情報を引き出したりすることもセンターの役割と認識している。

○情報数 約 1,500 (まちづくり／保健・医療・福祉／多文化共生・海外支援／生涯学習／こども／環境・動物保護／災害援護活動／文化・芸術・スポーツ／人権／NPO／ボランティア募集／職員募集／資格取得／組織マネジメント／ファシリテーション等のテーマに関する情報)

### ■市民活動センターホームページ「市民活動 WEB たちかわ」の運営

市民活動センターたちかわのホームページ『市民活動 WEB たちかわ』を開設・運営している。インターネット上にてボランティアの募集情報や市民活動団体のイベント情報等を配信。登録した市民活動団体については、自身の手元のパソコン操作で情報配信できる仕組みを確立している。

団体からの情報発信が増加すると同時に、ホームページの閲覧をきっかけに活動への参加につながり、市民活動センターへの問合せのきっかけとなることが年々増加している。

22年度より社会福祉協議会のホームページとの統合を図る予定で、センターホームページについても、市民目線に立ちさらに利用しやすく、アクセスしてもらえるホームページにするための検討をしていく。

○ホームページへのアクセス総数 (平成21年4月1日～平成22年3月31日) 24,903件  
(平成20年度は24,628件)

### ■市民活動センター情報紙「市民活動センター★たちかわ通信」

ボランティアやNPOに関する取材記事、情報を毎月1回、情報紙として発行した。

市民が自由に手にできるよう、図書館、学習館等に設置すると同時に、市内協力店等でも設置していただき、関係機関、市民活動団体等には直接送付している。また、読売新聞立川北部サービスセンターの協力により、栄町、高松町、曙町の一部においては新聞折り込みにより配布している。

年5回(5月、7月、10月、12月、2月)は、立川市社会福祉協議会の機関紙である「あいあい通信」内に情報を掲載して市内全戸配布している。団体からは、開催する講座やボランティア募集のお問い合わせをいただいたという声も寄せられている。

○発行回数 12回(うち5回は「あいあい通信」)  
○発行部数 5,400部(「市民活動センター★たちかわ通信」)  
76,000部(「あいあい通信」)

## ■市民活動団体リスト・ボランティア受け入れ団体リスト作成

市民活動センターたちかわ登録団体の紹介冊子「市民活動センターたちかわ登録グループ紹介BOOK」は2年ごとの更新である。

○「市民活動センターたちかわ登録グループ紹介BOOK」

○掲載団体 147 団体

## (5)NPO法人設立ガイダンス

NPO法の解説・法人化の意義・設立に向けた手順や事務についての内容で、年4回、平日夜間に開催。参加団体の活動分野は多岐にわたる。「NPOとは何か」を入りに多様なグループ運営の相談・質問が持ちかけられる場となっている。

ガイダンスだけでは「日程が合わない」「個別に解説してほしい」という声も多く、適宜、通常の相談としても受け付けている。

○参加者延べ人数・・・44名（市内在住・在勤37名、近隣7名）

○参加者層・・・実際に法人化を考えている団体、教養としてNPOの仕組みが知りたい市民

○多い質問・・・「NPO法人と他法人の違いは?」「役員・社員の規程について」

「収益事業や課税について」「提出書類のチェックについて」

	開催日時	参加者数	参加者の活動分野
①	平成21年5月20日(水)	10名	高齢者の生きがい支援、育児支援、地域でのつながりづくり活動
②	平成21年7月29日(水)	12名	税理士、海外の民間芸術を広める活動、DV等の相談
③	平成21年10月29日(木)	9名	発達障害児の支援、大学生、人工透析患者の支援（当事者の会）
④	平成22年2月17日(水)	13名	行政書士、有償家事援助サービス、知的障害児・者の家族会

## (6)市民活動団体向け実務講座

柔軟で特徴ある市民事業を起こすNPO法人や非営利団体が増加している一方、運営実務能力については悩みを抱えている団体が多い。本センターで行っているNPOガイダンスや運営相談利用者からも、会計・税務・労務・定款の作り方等に関する専門講座開催を望む声が多いため、運営基盤づくりの支援策のひとつとして開催した。

### ■NPO法人・非営利団体のための運営実務あれこれ講座

○開催日 ①平成22年2月17日(金) ②2月26日(金) ③3月6日(土) ④3月12日(金)

○会場 ①②④立川市女性総合センター・AIM ③総合福祉センター

○内容 ①NPO法人設立ガイダンス 講師：市民活動センターたちかわスタッフ

②定款の作り方 講師：池澤良子氏

(東京ボランティア・市民活動センタースタッフ)

③NPO法人と会計・税務 講師：内藤純氏(公認会計士・税理士)

④NPO 法人と労務 講師：井嶋栄治氏(社会保険労務士)

○参加者 ①13名 ②10名 ③11名 ④9名

## (7)市民活動団体マネジメント講座

市民活動団体が、組織内部でのマネジメント力をつけることと、団体内外へ活動への共感を広げる力をつけることを目的に開催した。

今年度は、よく寄せられる「ヒト(人材)」「モノ(場所)」「カネ(資金)」のキーワードの中から、「カネ(資金)」をテーマに取り上げ、市民活動では先駆的な活動をしている大阪ボランティア協会の早瀬氏を招いての講座を実施した。

### ■市民活動団体・ボランティアグループのための資金確保術

- 開催日 平成22年3月15日(月)
- 会場 女性総合センター・AIM
- 講師 早瀬 昇氏 (大阪ボランティア協会)
- 内容 市民活動団体・ボランティアグループのための資金確保術
- 参加者 32名

## (8)活動資金助成

### ■ボランティア活動等助成事業の実施

市民活動団体の立ち上げ資金や事業費について、団体支援委員会にて審査をし、助成の可否を決定した。審査のガイドラインに当てはまらないケースも申請団体の実情やセンターの理念に照らし合わせて判断をし、必要に応じて要項やガイドラインの改正にもつなげている。今年度は、登録団体に向けた助成金に対するアンケート「助成制度を共によくしていくための利用実態調査」を実施した。その結果から、市民活動団体にとって必要な支援は、助成だけではないということがわかった。平成22年度以降に向けてセンターらしさを強めた助成事業への改善を進めるとともに、その他の団体支援についても検討を進めていく。

- 立ち上げ資金助成 10団体 490,732円
- 事業費等助成 17団体 1,375,396円 平成22年3月現在

団体名	申請区分	助成額
たちかわエコパートナー	立ち上げ資金	50,000円
立川市聴覚障害者協会	社会福祉に関する普及活動	100,000円
栄町猫対策委員会	立ち上げ資金	50,000円
市民活動資料・情報センターをつくる会	立ち上げ資金	50,000円
NPO法人 市民活動サポートセンター・アンティ多摩	市民交流事業	100,000円
立川市砂川公園環境美化グループの会	市民交流事業	62,500円

多摩ミュージック 21	市民交流事業	100,000 円
夢たち応援団	市民交流事業	100,000 円
NPO 法人 教育支援協会 東京第二支部	市民交流事業	100,000 円
NPO 法人 立川子ども劇場	市民交流事業	76,988 円
立川市肢体不自由児・者父母の会 たつのこ	市民交流事業	75,000 円
そば打ち友の会	立ち上げ資金	50,000 円
石田倉庫の住人	市民交流事業	100,000 円
子育て支援ボランティア ミニトマの木	社会福祉に関する普及活動	39,000 円
和太鼓 趣	市民交流事業	100,000 円
ペットを災害から守る市民の会	市民交流事業	83,858 円
中途失聴・難聴者「つばさの会」立川	社会福祉に関する普及活動	44,850 円
おはなしたまご	立ち上げ資金	50,000 円
NPO 法人 高齢社会の食と職を考えるチャンプルーの会	社会福祉に関する普及活動	100,000 円
立川市手をつなぐ親の会	市民交流事業	100,000 円
親子ダンスサークル mommy&kids	立ち上げ資金	50,000 円
ダンスサークル ストリート	立ち上げ資金	50,000 円
チャイルドラインたちかわ	社会福祉に関する普及活動	48,200 円
Body and Soul	立ち上げ資金	48,701 円
西砂・一番市民活動ネットワーク	立ち上げ資金	50,000 円
立川市食器再使用推進協議会	立ち上げ資金	42,031 円
地域デイサービス テイクオフ	市民交流事業	45,000 円

## ■民間助成の周知

民間団体の助成情報を市民活動センターのホームページや広報紙に掲載したり、各団体に個別に送付したりする等して、市民活動団体やボランティアグループに周知を図った。また助成団体によっては、申請団体の活動拠点がある社会福祉協議会が推薦文を記載する欄がある。団体独自の活動の意義について推薦文を作成した。

## (9)活動スペースの貸出し

### ■ボランティアルームの管理運営

ボランティア活動の拠点として、市内2ヶ所のボランティアルームの管理運営を行った。

- ・しばぎボランティアルーム（シルバー人材センター内／立川市柴崎町 1-17-7）
- ・ふじみボランティアルーム（立川市総合福祉センター2階／立川市富士見町 2-36-47）

しばぎボランティアルームの利用件数については、昨年度より30%増加した。また、ふじみボランティアルームの利用件数についても、30%増加した。

<利用実績>

	しばぎボランティアルーム	ふじみボランティアルーム
4月	8団体	6団体
5月	7団体	12団体
6月	9団体	14団体
7月	8団体	12団体
8月	20団体	11団体
9月	8団体	12団体
10月	8団体	11団体
11月	10団体	14団体
12月	6団体	10団体
1月	4団体	15団体
2月	8団体	14団体
3月	4団体	14団体
合計	100団体	145団体

(10) 機材の貸出し

○印刷機・拡大印刷機

印刷機、拡大印刷機の利用件数は昨年度とほぼ同数であった。

<利用実績>

	印 刷 機		拡大印刷機	
	件数	金額	件数	金額
4月	45件	23,150円	9件	3,760円
5月	34件	14,190円	7件	6,200円
6月	34件	15,950円	4件	1,650円
7月	43件	17,050円	4件	1,790円
8月	22件	4,100円	7件	1,450円
9月	28件	11,200円	11件	5,150円
10月	37件	15,800円	11件	4,340円
11月	29件	10,500円	6件	4,080円
12月	26件	9,900円	4件	3,050円
1月	26件	10,700円	10件	7,200円
2月	35件	19,150円	8件	3,100円
3月	36件	11,600円	7件	2,840円

合計	295 件	163,290 円	88 件	44,610 円
----	-------	-----------	------	----------

### ○パソコン・図書・車椅子の貸出し

それぞれ増減はあるが、総数としては昨年度とほぼ同数であった。

#### <利用実績>

	パソコン	図 書		車椅子の貸出し	
		件	冊	件	台
4月	2件	10件	10冊	2件	9台
5月	4件	4件	5冊	3件	19台
6月	2件	1件	1冊	5件	31台
7月	4件	3件	4冊	4件	18台
8月	0件	7件	13冊	2件	8台
9月	4件	2件	2冊	6件	51台
10月	6件	1件	2冊	6件	33台
11月	2件	4件	14冊	3件	18台
12月	2件	1件	1冊	2件	13台
1月	4件	2件	2冊	1件	10台
2月	0件	0件	0冊	3件	28台
3月	2件	4件	4冊	4件	35台
合計	32件	39件	58冊	41件	273台

### ○各種備品の貸出

#### <利用実績>

備 品 名	団 体 数	貸し出し数
ア イ マ ス ク	4 件	延べ70枚
点 字 板	0 件	延べ0枚
マ イ ク ス タ ン ド	3 件	延べ3台
P A ( 音 響 装 置 )	3 件	延べ3台
テ ン ト	7 件	延べ7張

## (11)ボランティア保険

ボランティア活動を行う方が安心して活動できるよう、ボランティア保険および行事保険の相談、加入の受付をした。

#### <利用実績>

ボランティア保険	4,105名
ボランティア活動等行事用保険	99件 3,617名

## (12) 視察研修・取材の受入れ

他地区のボランティアセンターや運営委員会の視察研修を受け入れた。

- 5/7 (木) 国分寺ボランティアセンター視察
- 6/11 (木) 明星大学学生ヒアリング
- 7/15 (水) 東京ボランティア・市民活動センター新任研修
- 8/17 (月) 江東区 (ボランティアセンター・区民協働係) 視察
- 11/17 (火) 一橋大学大学院生ヒアリング
- 11/26 (木) 小金井市市民協働支援センター視察
- 11/27 (金) 武蔵野プレイス視察
- 12/14 (月) 慶応大学大学生ヒアリング
- 2/22 (月) 川崎市中原区ボランティアセンター視察

## (13) 実習生の受入れ協力

国家資格である社会福祉士の取得を目指す実習生を積極的に受入れ、人材育成に寄与した。

○明星大学	1名	○武蔵野大学	1名
○日本社会事業大学	2名	○帝京平成大学	1名
○東洋大学	1名	○法政大学	1名
○立教大学	1名	○東京学芸大学	1名
○白梅学園大学	1名		

合 計 10名 (3~5日間)

## 平成 21 年度の市民活動センター事業を振り返って

平成 21 年度は、立川市の平成 22 年度から平成 26 年度までの 5 ヶ年計画である、第 3 次基本計画の策定を進めた年に当たる。この計画に付随した「福祉・保健」分野の個別計画となる立川市第 2 次地域福祉計画の策定と歩調を合わせて、立川市社会福祉協議会第 3 次「立川あいあいプラン 21」（地域福祉市民活動計画）の策定も進めた。この計画の期間である今後 5 年間で、立川市の 65 歳以上人口は 20%を超え本格的な少子高齢化社会を迎える。また、100 年に一度と言われる経済不況は市財政や雇用情勢に多大な影響を与えている。このような社会的背景の中で、市民活動センターたちかわが行ってきた事業について振り返ってみる。

### (1) 地域福祉コーディネーターの配置

あいあいプラン 21 に計画された地域福祉コーディネーターは、わかば地域包括支援センターエリア（＝第 4 地区民協エリア）を拠点として活動を展開した。

21 年度、新たに取り組んだこととしては、栄町・若葉町、両地域の全世帯を対称に地域福祉コーディネーターの広報誌「まちねっと」の配布。栄町で高齢者等の孤食の問題に対応するため、小学校を利用した夏休みの高齢者の食事会の開催。若葉町で自治会の無い地域での組織化のための学習会の開催などがある。継続的な活動としても、若葉町で行っている認知症の高齢者を支える家族会は毎月の定例会を開催するに至るなど、着実に実を結んできている。

相談件数や連絡・調整回数も大幅に増加し、モデル配置 3 年目となった栄町・若葉町地区では地域福祉コーディネーターの存在が認知されてきたと言える。一方でモデル配置終了後の継続配置と他地区への増員配置に向け、活動の評価が求められた年でもあった。

### (2) 運営委員によるセンター運営

平成 21 年 6 月に 2 年ぶりとなる運営委員の改選を行った。新しい委員と共に「運営委員会」と 3 つの専門委員会「事業推進委員会」「団体支援委員会」「課題解決実行委員会」を開催、市民参画による市民活動センターたちかわの運営を行った。運営委員会の発案により、秋の楽市会場で市民活動の参加のきっかけとなるボランティア入門講座「楽市を 100 倍楽しむ楽市案内人!!」の開催、新しいボランティアグループの養成を目指した「そば打ちボランティア養成講座」からスタートしたそば打ちグループは、自主的な運営を行っている。また、より使いやすい助成事業を目指して、他に助成金事業を行っている団体との情報交換会を行ったのも、運営委員会の発案あつてのことであった。今後も、運営委員によるセンター運営を継続し、市民に活用され、必要とされるセンター運営を目指していく。

### (3) 「立川市第 3 次基本計画策定市民会議」

平成 20 年 10 月より始まった立川市第 3 次基本計画策定のための市民会議の運営を市民活動センターたちかわが受託し、平成 21 年 7 月に最終提言書を市長へ提出した。基本計画に反映させるための具体的な施策について、公募された市民を中心に検討を重ねた。今後の市政運営の指針となる基本計画の策定にあたって市民参加の支援を行ったことは、市民と行政の協働を推進する市民活動セ

ンターたちかわとしても重要な事業であった。

#### (4)平成 21 年度を総括して

平成 21 年度も、20 名の運営委員を中心に、「協働の推進」、「地域づくり」、「市民活動支援」をキーワードに事業を推進してきた。市民から受ける相談は年々増加し、市民に認知された頼りになるセンターに近づいてきている。

「協働の推進」では、立川市第 3 次基本計画策定のための市民参加の支援、地域学習館の市民と行政との協働による運営を進めるための立川市地域学習館運営協議会準備会への参画、自治会連合会支部単位で小学校を拠点とした地域防災訓練への参画等、市民と行政との協働に市民活動センター自身が参画する事例が増えている。また、同じく地域づくりを推進していく地域包括支援センターとの協働にも力を入れ、各地区での小地域ケア会議等への参加・協力等、協働を進めてきた。

「地域づくり」については、地域福祉コーディネーターの活動を重点的に推進してきたが、それ以外の地区でも地域懇談会を開催するなど、地域づくりを進めてきた。地域懇談会は栄町、若葉町、幸町、西砂・一番町、高松町、柏町団地で開催。各地区で各種の団体等との連携を深め、活発に地域づくりを推進してきた。

「市民活動支援」については、ボランティア活動や NPO 活動等、多様な相談に対する的確な対応を行ったり、助成事業、情報の受発信、OA 機器の貸し出し等を行ってきた。特に助成事業では市民活動団体へのアンケートの実施や助成事業を行っている団体との連絡会を通じて事業のあり方を検討してきた。今後も市民活動団体の「資金」、「活動場所」、「人材」、「運営」といった課題の解決につながるよう、市民活動の支援を図っていく。

#### (5)平成 22 年度に向けて

平成 22 年度は、第 3 次「立川あいあいプラン 21」に沿って、次の活動を重点的に取り組んでいく。

##### ○地域福祉コーディネーターによる住民福祉活動の推進

新規配置となった第 6 地区（上砂町・一番町・西砂町）では普及啓発活動に力を入れ、地域福祉コーディネーターの周知を図る。また、継続配置の第 4 地区（栄町・若葉町）の地域福祉コーディネーターと連携し、小地域福祉活動を推進する。

##### ○地域住民の孤立の防止

住民の誰もが孤立しない生活を送れるように、地域の「縁側」や「井戸端」といったたまり場、交流の場としての「支えあいサロン」活動を推進する。また、住民相互の助け合い活動等の支援も行う。

##### ○市民の主体的な学習活動の推進

小中学校の総合学習や都立高校の奉仕体験授業への支援を通じて、学校における福祉教育を推進する他、ボランティア活動の入門となる講座の開催、地域での福祉学習活動の支援を行う。

##### ○障害のある子どもが学校に通いやすい仕組みづくり

市立小中学校の通常の学級に通う身体障害のある児童・生徒に対し、ヘルパー派遣事業所より介助員を派遣する新規制度のコーディネートを行い、統合教育の推進に寄与する。

##### ○各種委員会・協議会等への参加

- ・地域学習館運営協議会、立川市子ども支援ネットワーク、高齢者虐待防止ネットワーク（仮称）、地域ケア会議等

以上、主な重点事業を掲げたが、運営委員によるセンター運営を土台として、「協働の推進」「地域づくり」「市民活動支援」のキーワードに基づいた事業を着実に進めていきたい。

## 市民活動センターたちかわ平成 21 年度収支決算(概略)

(単位円)

科 目	予 算	決 算	差 異
会 費 収 入	2,395,000	1,854,000	541,000
寄 付 金 収 入	3,197,000	3,147,000	50,000
東 京 都 受 託 金 収 入	3,098,000	2,996,700	101,300
立 川 市 受 託 金 収 入	13,926,000	13,926,150	▲ 150
立 川 市 補 助 金 収 入	9,939,000	9,893,001	45,999
事 業 収 入	503,000	391,860	111,140
共 同 募 金 配 分 金 収 入	2,620,000	2,620,000	0
雑 収 入	940,000	1,304,226	▲ 364,226
受 取 利 息 配 当 金 収 入	0	0	0
経 理 区 分 間 繰 入 金 収 入	0	0	0
<b>経 常 活 動 資 金 収 入 計</b>	<b>36,618,000</b>	<b>36,132,937</b>	<b>485,063</b>
人 件 費 支 出	24,174,000	24,171,717	2,283
事 務 費 支 出	2,928,000	2,921,509	6,491
事 業 費 支 出	4,666,000	4,048,418	617,582
共 同 募 金 配 分 金 支 出	2,620,000	2,620,000	0
助 成 金 支 出	3,230,000	2,857,296	372,704
<b>経 常 活 動 資 金 支 出</b>	<b>37,618,000</b>	<b>36,618,940</b>	<b>999,060</b>
<b>経 常 活 動 資 金 収 支 差 額</b>	<b>▲ 1,000,000</b>	<b>▲ 486,003</b>	<b>▲ 513,997</b>

1 収入について

- \* 事業収入は、NPO ガイダンス、貸出し機材の利用料等
- \* 雑収入は、夏体験ボランティアの参加費、実習生の受入謝礼等

2 支出について

- \* 人件費支出は、正職員 4 名
- \* 事務費の主な支出は、運営委員旅費、市民活動センター通信の郵送代等
- \* 事業費の主な支出は、NPO 実務講座の講師謝礼や市民会議運営にかかる費用、機材リース料等
- \* 共同募金配分金支出は、市民活動センター通信作成費等
- \* 助成金支出は、市民活動センターたちかわ助成事業、支えあいサロン助成金等

## 3章 これまでの7年とこれからの5年

### 1. 開設からの7年

市民にとって真に必要とされるセンターを再構築しようと、「市民活動センターたちかわ」を平成15年4月に開設して平成22年3月で7年が経過した。

これまでの7年間で留意してきたことは以下の通りである。

#### ■多様な分野の市民活動とつながる

暮らしに関わるあらゆる場面で、NPO やボランティアの活躍場面が広がっている。「福祉」「環境」「文化芸術」「社会教育」「多文化共生」等、多様なテーマに取り組む人や団体との関係性をセンター自身が絶えず作ることで、人や団体の新たなつながりを生み出すことに留意してきた。

#### ■多様なスタイルの市民活動を応援する

まちの中には、さまざまなスタイルで活動している人や団体がある。

ボランティアグループとして公的サービスでは届かない細やかなサポートを提供したり、NPO 法人格を取得して社会事業を興したり、生涯学習を入口に社会課題を共有化したり、子育てママたちが集まって悩みを一緒に解決したり。自治会やグッドネイバー等自分たちの地域のために日々活動する団体もある。

市民活動センターは、

- ・個人も団体も
- ・地域密着型活動もテーマ追求型活動も
- ・「市民活動したい人」も「市民活動のサポートを必要としている人」も

非営利で活動する人や団体の取り組みを応援することで、まちや社会がより豊かになることに貢献したいと意識してきた。

また、企業や行政等の他セクターと市民活動セクターのつながりを作り、社会課題に共に取り組む新たなパートナーシップを生み出すことも重要視してきた。

市民活動支援のあり方で日々大切にしているのは以下のことである。

- ・人も団体も多面的に捉える

多面的な視点をもつことで、人や団体の活動の幅が広がる。

場面によって「ニーズを抱えた当事者」であったり「支援者」であったりと人・団体は流動的に入れ替わる。「支援する側」「支援される側」と単純に二極化は出来ない。

- ・規模と価値観が多様であることを理解する  
相手に合わせた支援が必要である。
- ・異質なものを引き合わせて相乗効果を生み出す  
市民活動も行政もタテ割りの現状が多い。横糸としてのコーディネートが必要である。

### ■地域密着で生活課題解決に貢献する

多様化する生活課題を解決するためには、もはや行政の一律的サービスを受動するだけでは難しくなっている。地域特性や事情に応じて、住民自らが暮らしの課題を感知し、解決のための知恵を出し合う必要性が高まってきた。

立川のまちに密着して福祉のまちづくりを推進する立川市社会福祉協議会を母体とする当センターでは、以前から職員が担当地区を持ち、具体的にその地域の人や機関の力を引き出しながら解決にあたってきた。

平成 19 年度からは、その業務に特化した「地域福祉コーディネーター」を栄町、若葉町地区に配置している。さらに 22 年度からは、上砂町、西砂町、一番町地区にも増員し、より立川のまちに密着した福祉のまちづくりを推進していく。

### ■市民の合意形成づくりに関わる

市民活動の分野が多岐に渡り、行政や企業等他セクターと関わりながら活動を進める機会が増えると、異なる考えを持つものが集まり、合意をつくっていく機会も自ずと多くなってくる。時に対立構造に陥り、共に物事を進めることができなくなってしまう現状も見受けられる。

立川市では平成 15 年を「市民参加元年」と謳い市民と行政の協働の機会が模索されている。センターではより成熟された市民主体の社会を目指して、今後も行政施策を検討する市民会議の運営やファシリテート業務を積極的に受けていく。

### ■組織マネジメントの相談に応える

活動資金や活動場所の確保について、NPO 法人化をすべきかどうか、活動への参加者の広げ方、異なるセクターとの協働方法等、団体運営に関する相談が多く寄せられるようになった。

組織内で再確認することの整理や、NPO に関することの説明、新たな社会資源を一緒に探すお手伝いが日常業務として定着している。

## 2. これからの 5 年

常に社会課題を感知しながら、市民にとって真に必要とされる役割を担えているのか、運営委員会を柱にして進んでいくことに変わりはない。

これまでの 7 年の積み上げから見てきたことで、今後およそ 5 年で取り組むべきことは以下の通りである。

### ■日々寄せられる相談を大事にする

「ボランティア活動がしたい」「NPO を立ち上げたい」「市民活動の情報が欲しい」という明確な相談の一方で、「制度の狭間で行き場がなく困っている人をなんとかしたい」「解決方法が社会の中で確立されていない。どうしたらいいのだろう」「どこに相談したらいいのかわからないのでとりあえず聞いてほしい」といった漠然とした声が寄せられるのが、他の相談窓口と比較した際のセンターの特徴である。

この漠然とした、行き場のない相談の中に、新たな社会課題が見え隠れしていることがしばしばある。市民発の活動として取り組む意義のある案件が多く含まれている。

また市民の中には相談を持ちかけることや、アイデアを整理して提案することに不慣れな人もいる。その人自身の発信力を後押しすることは市民主体の社会づくりの第一歩である。

- ・さまざまな様相を呈し投げかけられる日々の相談の意味を見定める
- ・相談者を主軸に置きながら解決策を共に探る
- ・状況に応じた的確な情報提供やアドバイスをする
- ・窓口での待ち体制にとどまらず、地域福祉コーディネーター業務のように、地域での課題解決を目指した住民からの相談の掘り起こしも大切にする

この日常の繰り返しがセンターの大事な基盤である。

### ■センターの認知度・信頼度を高める

多彩な人・団体から相談を持ちかけてもらうためには、センターの役割が広く認知されていることが必須である。

地域に密着した顔の見える関係性をセンター自身が豊かに携えていることで、具体的に人をつなぎ、「だから今あなたの力が必要」と持ちかけることが出来る。

またセンターの活動自体を多くの人に支えてもらい、安定したセンター運営をしていくためにも認知度・信頼度の向上が必要である。

### ■市民活動参加者の裾野を広げる

市民活動は、一部の熱意ある人だけが関わればよいというものではない。市民ひとりひとりが社会となんらかのつながりを持ち日々の生活を営んでいる。

時間的な制約のある人や、これまでボランティアやNPOとは無縁だった人にも参加しやすい「ちょこっと関われる」活動や今の生活の中から付加できる社会貢献の機会提供が課題である。

### ■市民活動や協働事業の成果を明確にする

個々の市民活動の成果が市民生活にどう還元されているのかを分かりやすく明確化することが、新たな参加者増にもつながる。

「市民と行政の協働」の機会はこの6年で激増したが、行政から機会を作っていることが多い。これまでは行政関係者だけで進めてきた「まちの施策」への協働だけでなく「まちの施策からもれること」への協働を市民発でどう進めていくかも課題である。

協働のパートナーも「市民と行政」だけでなく「市民と企業」「市民活動団体同士」等多様な組み合わせの機会を引き出していきたい。企業のCSR活動をどうまちの課題解決に引き寄せていくかも次のステップである。

また協働の評価については、「良い・悪い」「出来ている・出来ていない」とか数値の増減の結論で終わるのではなく、次に取り組むべきことが見えてくる評価を構築することに貢献していきたい。

### ■「これからの公共」を描く

これまでの公共政策は行政職員中心に担ってきたが、これからはNPOを含めた多彩な担い手で広く担っていく時代といわれている。

ひとりひとりの市民としての行動のあり方や地域活動から、まちの政策に至るまで「これからの公共」について、市民活動センターという立場から描いていく必要がある。

まちの中で公共事業を担い始めた市民活動団体から寄せられている、財源確保や雇用安定化の課題については、

- ・公共的ニーズの定義づけ
- ・公益ファンドの検討
- ・寄附文化の仕組みづくり

等のことを柱にしながらか格的に取り組む必要がある。

### ■立川の総体的なまちづくりを常に意識していく

市民活動の領域は暮らしのあらゆる場面につながっている。一人ひとりの暮らしのあり方から地域社会の営み、まちの施策、施策からもれる狭間の社会課題。ひとつひとつの案件をバラバラに捉えるのではなく、本質を探りながら事業運営をしていきたい。

また、地域に軸足をしっかりと持ちながら、解決すべきことに応じて、市民セクター、行政、企業、専門機関等、それぞれと領域を時に重ね、協働して立川を魅力あふれるまちにしていきたい。

## 4章 資料

### 1. 平成 21 年度登録団体

#### ○障害のある人や高齢者、医療に関するグループ

団体名	活動内容
エクセルシオボランティアグループ	至誠ホーム内の喫茶ボランティア活動
ガイドヘルプサービスあい	障害のある方のための移動支援・送迎
拡大写本 グループふうせん	弱視の方のために書類や書籍を拡大
片麻痺ネットワーク	パソコン教室の実施
聞き書きボランティア	高齢者の話を聞き、記録し小冊子にして贈る活動
ぐる〜ぷ あゆみ	障害のある子どもたちのために布の絵本や遊具の製作
特定非営利活動法人 ケア・センターやわらぎ	高齢者・障害者への介護保険サービスや自立支援サービス事業等
国立病院災害医療センター ボランティアの会	外来患者の受付・案内サポート
Js club (ジェイズクラブ)	障害のある方対象のアウトドアメンバーズクラブの運営
特定非営利活動法人 しらゆり	知的障害のある方が働く場
特定非営利活動法人 自立生活センター立川	障害のある方が自分らしく生活するためのピア支援活動
たすけあいワーカーズ パステル	高齢者、障害のある方、子どものいる家庭へ有償家事援助サービス提供
立川市視覚障害者福祉協会	視覚障害のある方自身による社会参加推進活動
立川市肢体不自由児・者父母の会 たつのこ	肢体不自由児とその親のための交流活動
立川失語症さくら会	脳卒中や交通事故の後遺症者の回復支援活動
立川手話友の会	日本手話とろう文化をろう者から学び理解を深める
特定非営利活動法人 立川市障害者後援会	身体・知的・精神障害のある方への支援と理解を広める活動
立川市聴覚障害者協会	聴覚障害のある方同士の親睦や、障害理解を広めるための活動
立川市手をつなぐ親の会	市内在住の知的障害児・者の福祉増進と援助活動
立川市手をつなぐ親の会 スマイルくらぶ	知的障害のある子どもたちの放課後や余暇活動
立川市朗読サークル「こえ」	視覚障害のある方のために録音テープやCDを製作
立川点字サークル	視覚障害のある方のための点訳活動
特定非営利活動法人 立川マック	アルコール依存症回復のためのプログラム活動
立川麦の会(立川精神障害者家族会)	精神障害のある方が安心して住み続けられるまちづくり活動

たっちっちの会	ダウン症児の家族同士による情報交換や悩み相談
ボランティアグループ“木苺”	柏地域サービスセンター(高齢者デイ)でのボランティア活動
特定非営利活動法人 MeTHoD	精神障害者グループホームの運営
ユニバーサルボランティア東京	高齢者による高齢者のためのお話し相手活動
ラッキークローバー	知的障害児を持つ家族として余暇活動や勉強会を開催
ら・ら・ら Crayon	知的障害児のスポーツサークル
リサイクルショップいろりん	障害当事者によるリサイクルショップ経営
若葉くらぶ	若葉町中心に障害のある子もない子も共に育つ地域づくり
特定非営利活動法人 地域福祉サービス協会	高齢者・障害者が地域で暮らすための助け合い活動
八王子献血グループ	立川献血ルームでの補助活動
特定非営利活動法人 SPORTS・ACT LaLaLa 柏	知的障害のある方が働く場
立川手話こぼしの会	ろう者との交流や手話技術の向上、ろう者の問題を共に考える
立川在宅クリニック ボランティアさくら	立川在宅クリニックのホスピスケアを受けている患者やその家族のサポート
きずなの会 東京	高齢者や障害のある方への生涯支援
クローバーの会	聴覚障害のある方の理解と手話技術の向上
中途失聴。難聴者 「つばさの会」立川	高齢者や聴覚障害のある方同士の交流の場
特定非営利活動法人 SPORTS・ACT LaLaLa 若葉	障害のある方のグループホーム
特定非営利活動法人 SPORTS・ACT LaLaLa 砂川	知的障害のある方のケアホーム
特定非営利活動法人 SPORTS・ACT LaLaLa 上砂	障害のある方のグループホーム
地域デイサービス テイクオフ	知的障害のある方の余暇活動の場
立川福祉作業所	知的障害のある方が働く場
特定非営利活動法人 たんぽぽ	障害のある方が働く軽食・喫茶店

### ○子どもや子育てに関するグループ

団体名	活動内容
親子で学ぶサークル『ハーモニー』	講師を交え「英語」「体操」「リトミック」活動等
特定非営利活動法人 教育支援協会 東京第二支部	小学生を対象としたアフタースクールの運営
子育て支援ボランティア ミニトマの木	子育て支援、見守り保育ボランティア
子育ていれかわりたちかわり	子育てサークルや支援団体のネットワーク活動

市民型ソーシャルワーカー ほっとほっとたちかわ	傾聴を中心にした子どもと家庭のための訪問支援活動
特定非営利活動法人 市民共同学習プロジェクト子どもひろば	子どもが自分を守る力をつけるための出前講座や不登校児支援
すくすくフォローグループ	小さく生まれた子と親への支援活動
スマイル	若葉町での親子グループ活動
特定非営利活動法人 立川子ども劇場	子どもたちに演劇・音楽・芸術・遊び等の文化的体験を提供
立川プレーパーク	自分のやりたい遊びを思いきりできる冒険遊び場の運営
立川マザーズ	ひとり親家庭の母子・父子等の交流親睦活動
たまがわ・みらいパーク 企画運営委員会	子どもを中心とした遊び場・学び場の運営
特定非営利活動法人 東京賢治の学校	シュタイナー教育をベースにした自主学校
和みアカデミー	幼児から高齢者を対象に自由な学びの場を提供
社会福祉法人 西立川児童会館	18歳までの子どもを対象にした自由な遊び場活動
はぐはぐ	子育て中の親が語り合い、子どもたちが安心して遊べる居場所活動
パドマ	子ども連れで参加可能なヨガサークル
ボーイスカウト立川第7団	子ども達の健全な成長のために指導者のもとにスカウト活動
学ボラの会	富士見町を中心とした学校支援ボランティア
ママの杜	母親のための情報交換、講座開催
夢たち応援団	「夢たち 子ども21プラン」の推進、バックアップ
ちるちる	0歳～1歳児の子を持つ母親たちの「こどもの時間」上映会
エル・ソレイユ	「優しい時間」シリーズの企画展開
さわさわ	妊娠中や子育て中親子のグループ活動
親子ダンスサークル mommy&kids	ダンスを通じた子育て支援や親同士の交流の場
Body and Soul	思春期の子どもたちの体と心について必要な情報を届ける活動
おはなしたまご	読みきかせのグループ

### ○環境に関するグループ

団体名	活動内容
特定非営利活動法人 『キャップの貯金箱』推進ネットワーク	ペットボトルキャップを回収・換金しNGOへ寄附
特定非営利活動法人 集住グリーンネットワーク	緑豊かなまちづくりのための環境教育や雑木林保全活動等
立川かんきょう市民の会	親子の自然体験学習や環境イベントの実施

立川市砂川公園 環境美化グループの会	清掃活動や子ども達のための環境学習支援
玉川上水の自然保護を考える会	玉川上水の自然環境保全のため野草保護や水路清掃等
特定非営利活動法人 バイオマス産業機構	CO2削減にかかわる環境整備事業・社会教育・人材育成
特定非営利活動法人 武蔵野の里作りクラブ	昭和記念公園内で武蔵野の農村風景再現と体験活動
こどもエコクラブ	小中学生を対象とした清掃活動・野外体験活動
子どもエコ新聞社	子どもたちによる環境をテーマにした新聞作りや取材活動
たちかわエコパートナー	清掃活動や環境学習講座の開催
立川市食器再使用推進協議会	環境に配慮した生活知識の普及啓発

### ○文化・スポーツに関するグループ

団体名	活動内容
ウクレレ囲んでみんなで唄おう 「ハウオリ」	高齢者施設での訪問演奏活動
石田倉庫の住人	アート・クラフトの体験教室や地域イベント開催
歌扇会	福祉施設等で歌や踊りのプログラム提供
キネマ たちかわ	優れた映画の自主上映サークル
キューティー・コア	誰もが参加できるエクササイズ活動
シネマ 16	定例映画会・映写機学習会
自立生活体操クラブ	音楽に乗せてイスやボールを使った体操プログラムの提供
特定非営利活動法人 SPORTS・ACT	地域スポーツの環境整備と障害者の地域支援事業
すみれ寮ぼれぼれコンサート	障害の有無を問わず楽しめるコンサートの企画実施
立川親と子のよい映画をみる会	良質な映画の定例上映会
立川市テニス向上委員会	テニスのマナーや技術の無料レッスン提供
立川まちおん	ストリートミュージシャンの支援や地域音楽イベントのコーディネート
多摩ミュージック21	子ども、障害者、高齢者を対象に良質で安価なコンサートを開催
虹の音楽隊	高齢者や児童施設、地域イベントでの演奏活動
ハワイアングループ —WAPIO PLUS—	高齢者施設や地域イベントでハワイ文化を広める活動
プルメリア・フラグループ	高齢者施設や地域イベントでハワイ文化を広める活動
ミュージック・トレイン	乳幼児やその家族を対象にしたコンサート活動
八舞て会	高齢者施設等で邦楽・芸能プログラム披露

ダイエットクラブ	身体を動かす機会の少ない人に運動不足解消の機会を提供
音楽のあふれる街にしょう会	クラシックコンサートを通じての世代間交流
本町	介護施設、幼稚園でのお囃子、演奏活動
みんなの展示場 中村洋久絵画館	絵画や手作り作品の無料展示、観覧
ダンスサークル ストリート	高齢者の健康維持や多世代交流を図る活動

### ○多文化共生に関するグループ

団体名	活動内容
立川国際友好協会(TIFA)	在住・在勤外国人のための日本語教室
特定非営利活動法人 たちかわ多文化共生センター	外国人のための相談受付や多文化共生イベントの実施
松中日本語教室	在住・在勤外国人のための日本語教室

### ○地域づくり・まちづくりに関するグループ

団体名	活動内容
愛犬パトロールグループの会	愛犬を伴った防犯活動や地域環境美化活動
あすなる洋裁グループ	福祉施設等の依頼に応じ衣類や小物の作成
特定非営利活動法人 安全学研究所	広範な安全に関する勉強会の実施
おたのしみ交流会実行委員会	ひとり暮らし高齢者と地域の子どもたちの交流活動を実施
キャットニップ	地域ネコの保護・管理
緊急通報犬育成協会	防犯福祉を目的とした緊急通報犬の育成
ぐるーぷ「たけのこ」	使用済み切手の整理
特定非営利活動法人 高齢社会の食と職を考えるチャンプルーの会	コミュニティレストランや地域の居場所づくり事業
栄町地区グッドネイバーをすすめる会	町内で「良き隣人」として人と人をつなぎ支える活動
シニア倶楽部	高齢者、障害者、主婦を対象にしたパソコン教室実施
柴崎町地区 グッドネイバー推進協議会	町内で「良き隣人」として人と人をつなぎ支える活動
市民活動資料・情報センターを つくる会	市民団体発行の通信やミニコミの保存・収集公開活動
特定非営利活動法人 立川教育振興会	教育・文化に関する講演会開催や学校支援ボランティアの推進
立川よいと祭り実行委員会	市民相互のふれあいと郷土意識向上を目的とした祭の実施
立川トーストマスターズクラブ	コミュニケーション能力向上のための活動
西砂・一番地区地域福祉を考える会 (グッドネイバー 西砂一番)	町内で「良き隣人」として人と人をつなぎ支える活動

若葉町の福祉を考える会 グッドネイバー若葉	町内で「良き隣人」として人と人をつなぎ支える活動
若葉町ボランティアグループ	高齢になって外出が少なくなった方たちの仲間づくり
西砂・一番市民活動ネットワーク	つながる場・オープンガーデン作り
ペットを災害から守る市民の会	災害時にペットと市民が共に安心して暮せるまちづくり
栄町猫対策委員会	地域ネコの保護・管理

### ○いろいろな相談事業に関するグループ

団体名	活動内容
特定非営利活動法人 欠陥住宅を防ぎ耐震補強を推進する会	無料耐震相談会やセミナーの実施
特定非営利活動法人 シニアメイトサービス	成年後見制度についての学習会や無料相談会
特定非営利活動法人 市民活動サポートセンター・アンティ多摩	市民活動団体や個人へ向けた情報誌作成や活動支援
特定非営利活動法人 生活設計支援センター	年金・保険・相続・資産運用等の相談事業やセミナー開催
特定非営利活動法人 「育て上げ」ネット	若者就労支援事業
たちかわパソコン倶楽部	初心者を対象にした無料相談会や福祉施設での講座実施
チャイルドラインたちかわ	18歳までの子どもを対象にした電話相談活動
パソコン相談員研究会	初心者を対象にした相談・講習会の実施
特定非営利活動法人 より良い住宅環境作りを支援する会	新規住宅購入や健康住宅を考える講座の実施等
特定非営利活動法人 ライブリー	家庭内の問題についてのカウンセリングや法務相談事業
特定非営利活動法人 オアシスらんど	身寄りなく無職状態の中高齢者の共同生活施設運営

## 2. 市民活動センター★たちかわ通信

○Vol.54(平成21年4月発行)

4月は新しいことを始める季節。市民活動に参加するきっかけづくりを!!



# 市民活動センター★

# たちかわ通信

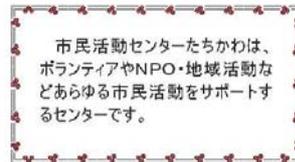


### ◆編集・発行◆

社会福祉法人 立川市社会福祉協議会 市民活動センターたちかわ  
〒190-0013 立川市富士見町2-36-47 ☎ 042-529-8323 Fax : 042-529-8714  
E-mail : aiaive@whi.m-net.ne.jp URL : http://act.annex-tachikawa.com/

### ◆開所日・時間◆

月～金曜日 8 : 30 ~ 19 : 00 ※日曜日・祝祭日と12/28(月)～1/3(日)は  
土曜日 8 : 30 ~ 17 : 15 お休みとさせていただきます



市民活動センターたちかわは、ボランティアやNPO・地域活動などあらゆる市民活動をサポートするセンターです。

2009.4 Vol.54

### 新しい季節がめぐってきました

## できることから市民活動をはじめませんか？

### ■市民活動センターたちかわはボランティア・NPO・まちづくりに関する窓口です

「ボランティア活動に関心があるけどどうやって始めたらいいのかわからない」「NPOを立ち上げたい」「誰かのサポートを必要としている人がいるがどこに聞いたらいいのだろう」

そんな時には、まずは市民活動センターたちかわにご一報下さい。  
必要な情報をその方に合わせて一緒にお探しします。

### ■登録団体も募集中

市民活動団体・ボランティアグループの登録制度も設けています(平成20年度は124団体)。「より多くの人に団体の活動を知ってもらい仲間や応援者を増やす」ための情報公開や市民活動団体に関係する情報を届け、活用していただくことを目的としています。

### ●登録団体が利用できるサービス例・・・

市民活動センターのホームページを使って瞬時に情報発信(無料)/センター通信に優先的に記事掲載(無料)/会場予約の優先権(無料)/立川市学習等供用施設の活用(原則無料)/印刷機の低額利用/など  
登録申請書をセンターHPでもダウンロードできます。  
お声かけください。

### ■活動中の事故に備えた保険

ボランティア活動者自身にかかる「ボランティア保険」と非営利団体が主催する行事にかかる「行事保険」の加入受付をしています。年間通していつでも加入できます。



### ●市民活動情報コーナー

約1200種のチラシや機関誌をどなたでも自由に閲覧いただけます。



### ●専門スタッフによる活動相談

予約は不要です。自分に合った市民活動を探すお手伝いをさせていただきます

### <<<今月号のもくじ>>>

○市民活動をはじめませんか?	P. 1
○「行列の出来る!!」 講座・チラシの作り方」開催	P. 2
○市民参加シンポジウム「地域の中で人がつながる新しいしかけ」開催しました	P. 3
○都立高校奉仕体験活動報告	P. 4-6
○情報コーナー	P. 7
○「春の楽市」開催します	P. 7
○地域福祉コーディネーター活動報告	P. 7
○市民活動センターからのお知らせ	P. 8

地域をつなぐカタチはさまざま。コミュニティカフェもその1つ。

# 市民活動センター ★たちかわ通信



◆編集・発行◆

社会福祉法人 立川市社会福祉協議会 市民活動センターたちかわ

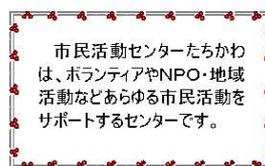
〒190-0013 立川市富士見町 2-36-47

Tel : 042-529-8323 / Fax : 042-529-8714

E-mail : aiaivc@whi.m-net.ne.jp / URL : http://act.annex-tachikawa.com/

◆開所日・時間◆

月～金曜日 8:30～19:00 / 土曜日 8:30～17:15 ※日曜日・祝祭日はお休みです。



2009.06 Vol.55

## 地域をつなぐコミュニティスペース

■誰もが集える場

コミュニティカフェ「ステッチ」

「ステッチ」とは刺繍から連想され、いろいろな布をつないでいくように、いろいろな人をつないでいきたいという想いを表した名前です。

このステッチには、カフェスペースとギャラリースペースがあります。

カフェスペースではオーガニックな素材に舌鼓をうちながら、喧騒を離れゆったりとした時間を過ごすことができ、数人で打合せをするには最適です。また、ギャラリースペースはバリアフリーとなっており、コンサートや作品の展示、講座など様々な人が参加することのできる空間となっています。

オーナーである青木さんは「高齢者・障害者・子育てファミリーの方々が集い、なおかつ障害者の雇用の場にもなるような、地域づくりをしていきたい。」と仰います。また、緑豊かな環境のなかで、想いのある人に使ってほしいという強い気持ちもお持ちです。一度カフェを訪れ、ステッチの中にながれるゆったりとした空気を味わってみてはいかがでしょうか。

○問合せ:

・ホームギャラリーステッチ(立川市柏町4-77-1)

☎042-535-9881

Fax : 042-535-9882

・青木栄司さん

☎080-6553-2466

○営業時間

11:30～17:30

定休日:火曜日・水曜日



■地域交流スペース「依天(いそら)」

「依天」とは天に運命をゆだね、共に生きていくという意味があります。「地域の人が集まることのできる場になると良い。」「施設の利用者と「依天」を利用する市民が交流できる場になってほしい。」など、様々な人達の交流を生み出す場所がこの「依天」です。展示やコンサート、会議室への利用、誰でも立ち寄ることのできる地域交流スペースとなっています。

使用要件: 社会福祉法人恵比寿会後援会への登録(後援会は年会費1口3,000円以上。後援会に加入された方は「依天」を光熱費や設備にかかる維持費のみで利用することができます)。

○申込み・問合せ

社会福祉法人恵比寿会

フェローホームズ

(立川市富士見町2-36-43)

☎042-523-7601

✉info@fellow-homes.or.jp



◀◀ 今月号のもくじ ▶▶

○地域をつなぐコミュニティスペース	P.1
○市民活動センター助成事業(前期)の報告	P.2
○市民おもしろ大学を開催しました	P.3
○三菱東京UFJ新任研修に協力しました	
○情報コーナー	P.4-6
○夏! 体験ボランティア 参加者募集	P.7
○地域福祉コーディネーター活動報告	
○市民活動センターからのお知らせ	P.8

市政の核となる基本計画。市民提言の重みを感じます。

# 市民活動センター ★たちかわ通信

◆編集・発行◆

社会福祉法人 立川市社会福祉協議会 市民活動センターたちかわ  
 〒190-0013 立川市富士見町 2-36-47  
 Tel : 042-529-8323 / Fax : 042-529-8714  
 E-mail : aiaivc@whi.m-net.ne.jp / URL : http://act.annex-tachikawa.com/

市民活動センターたちかわは、ボランティアやNPO・地域活動などあらゆる市民活動をリポートするセンターです。

◆開所日・時間◆

月～金曜日 8:30～19:00 / 土曜日 8:30～17:15 ※日曜日・祝祭日はお休みです。

2009.09 Vol.57

## 第3次基本計画策定市民会議が市長に提言を提出

■71名が80回にわたり積み上げた提言

普段の生活の中で「わたしのまちの基本計画はどのようになっているのかしら」などと気にする方は少数派かもしれません。

基本計画とは市政運営の核となる計画のことです。立川市では、平成22年4月から26年3月までの5年間について新しい計画を作る時期を迎えています。

一般公募の市民(37名)、大学生インターン(10名)、30代の推薦委員(9名)、市民会議の運営サポートをする調整委員(3名)、職員委員(12名)の総勢71名が昨年10月から10ヶ月をかけ延べ80回の市民会議を重ねてきました。

この間、当センターも市民会議の運営役として関わらせていただけてきました。

「これまで市政に関心を持ったことなどなかったがこのままじゃマズイ。人任せにしてられないと思って」

「定年退職した。仕事で蓄積したことがきっと自分の住むまちに還元できる」

「大学でまちづくりを学んでいるが、実践者として関わってみたい」など市民会議に集った動機は様々でした。年齢も経験も関心事も異なりますが「立川のこれから」を思い描きながら対話を積み上げ、去る7月25日(土)、ついに市長へ市民提言を提出しました。



市長に提言を提出  
熱い思いは100ページの提言書として集約された

市民提言のバトンを受けた立川市では今後、庁内検討や市民討議会、パブリックコメント等を経て今年度末の基本計画策定へと進みます。

→提言内容については次ページ



「計画推進」「福祉保健」「生活環境」「教育文化」「都市づくり」「産業」の6分科会に分かれ具体的施策も検討

### << 今月号のもくじ >>

○第3次基本計画策定市民会議が市長に提言を提出	P. 1
○第3次基本計画策定市民会議 提言の概要	P. 2
○夏！体験ボランティア2009 活動報告	P. 3
○情報コーナー	P. 4-6
○都立高校奉仕体験活動報告	P. 7
／地域福祉コーディネーター活動報告	
○市民活動センターからのお知らせ	P. 8

地域や人をつなぐ懇談会。市民の生の思いを感じられる貴重な場です。

# 市民活動センター ★たちかわ通信

## ◆編集・発行◆

社会福祉法人 立川市社会福祉協議会 市民活動センターたちかわ

〒190-0013 立川市富士見町 2-36-47

Tel : 042-529-8323 / Fax : 042-529-8714

E-mail : aiaivc@whi.m-net.ne.jp / URL : http://act.annex-tachikawa.com/

## ◆開所日・時間◆

月～金曜日 8:30～19:00 / 土曜日 8:30～17:15 ※日曜日・祝祭日はお休みです。

市民活動センターたちかわは、ボランティアやNPO・地域活動などあらゆる市民活動をレポートするセンターです。

2009.11 Vol.58

## 人とまちをつなぐ幸町地域懇談会

### ■幸町地域懇談会って何？

懇談会と聞くと難しい・堅いというイメージを持つ方もいると思います。しかし、この会は学生から参加でき、無理なく楽しく話し合い、一緒に行動することを大切にしています。そして、より暮らしやすいまちにするためにどうしたら良いのかを皆さんで話し合い、具体的な取り組みにつなげています。

全ての問題を解決することは難しくても、一つ一つ大切に組み込んでいきたいと思っています。是非お友達やご近所の方をお誘いあわせの上、ご参加ください！！

受付などのお手伝いをしてくださるボランティアも募集しています。

### ■今どんなことしてるの？

参加者から「人がつながることのできる機会をつくりたい。」「同じまちに住んでいても、家から少し離れると行ったことのないところばかり。」「住んでいる地区以外の取り組みを知りたい。」「という声をいただき、幸町に住む人の出会いの場になるような「夜回り活動」を開催することとなりました。



お茶やお菓子を食べながら、和やかな雰囲気でお話しをしています。

これまで幸町6丁目、2丁目で開催し、それぞれ地域の方々にご協力いただき好評をいただいております。

### ■次はいつあるの？

12月1日(火)19:00～21:00、幸町団地に集合し、夜回りをスタートします。夜回りはもちろん、団地の活動を伺ったり、至誠キートスホームの栗原園長に施設のご紹介などをしていただきます。

また、当日は有志を募って夜回り後に懇親会を行う予定です。

※参加を希望される方は市民活動センターへお申込ください。



探検に出るみたいで皆わくわくして、集合の20分前に全員集まりました。

### << 今月号のもくじ >>

○人とまちをつなぐ幸町地域懇談会	P. 1
○ふれあいミュージックフェスティバル2009	P. 2
○市民活動センターたちかわ助成事業(後期)の審査結果	P. 3
○情報コーナー	P. 4-6
○センター登録団体のご紹介(LaLaLa柏) / 地域福祉コーディネーター活動報告	P. 7
○市民活動センターからのお知らせ	P. 8

市民活動団体の悩みどころ「資金確保」。活動を継続するための資金確保術を学びました。

# 市民活動センター ★たちかわ通信

◆編集・発行◆

社会福祉法人 立川市社会福祉協議会 市民活動センターたちかわ

〒190-0013 立川市富士見町 2-36-47

Tel : 042-529-8323 / Fax : 042-529-8714

E-mail : aiaivc@whi.m-net.ne.jp / URL : <http://act.annex-tachikawa.com/>

◆開所日・時間◆

月～金曜日 8:30～19:00 / 土曜日 8:30～17:15 ※日曜日・祝祭日はお休みです。



市民活動センターたちかわは、ボランティアやNPO・地域活動などあらゆる市民活動をサポートするセンターです。

2010.03 Vol.60

市民活動団体向けマネジメント講座

## 市民活動団体・ボランティアグループのための資金確保術

～思いを伝え、活動を継続するために～

市民活動団体向けマネジメント講座は、市民活動団体が組織内のマネジメント力を高め、団体外の人や社会により影響力を持つ力をつけるための講座です。

今回のテーマは「資金確保」。

市民活動団体が活動を継続していくための課題として「ヒト(人材)」「モノ(場所や備品)」「カネ(活動資金)」というお声をよく耳にします。

その中でも活動資金に関するご相談は多く寄せられます。

資金確保の手段は、会費や寄付をはじめ、助成金、事業収入など様々な方法があります。しかし、思うようにいかないと感じている団体も多くあるのが事実です。資金確保をして活動を継続していくためには、何が必要なのでしょうか。

そのヒントを大阪ボランティア協会の早瀬昇さんに伺います。

早瀬さんは、市民活動支援の先駆けとして全国で知られる大阪ボランティア協会の事務局長。他にも、日本ボランティアコーディネーター協会や日本NPOセンターの理事などもされています。様々な肩書きをお持ちですが、関西人独特の感覚で、一見難しい話をわかりやすく、そして何より楽しく伝えてく



ださる方です。

活動の魅力(ウリ)を市民に伝え、共感を生み出すことで、資金を確保し、活動を継続していくための方法を知りたい方におススメの講座です。

日時: 3月15日(月) 19:00～21:00

場所: 女性総合センター・アイム  
5階 第3学習室(立川市曙町2-36-2)

講師: 早瀬昇さん  
(大阪ボランティア協会・事務局長、  
Shinjoプロジェクト市民活動公募助成  
審査委員)

参加費: 500円

定員: 40名(申込順)

申込み: 市民活動センターたちかわ

### << 今月号のもくじ >>

○市民活動団体・ボランティアグループの ための資金確保術	P. 1
○平成22年度助成事業のご案内 ／市民活動センター団体登録について	P. 2
○平成22年度ボランティア・行事保険について ／第22回市民おもしろ大学	P. 3
○情報コーナー	P. 4-6
○コミュニティビジネスフォーラムin立川 ／地域福祉コーディネーター活動報告	P. 7
○市民活動センターからのお知らせ	P. 8